2025年度
第1回業務委員会
資料№8-1

脱炭素時代を生き残る経営者のための エネファームトップセミナー 報告資料

令和７年４月２２日

一般社団法人 全国LPガス協会

日本ＬＰガス協会と共同主催
脱炭素時代を生き残る経営者のためのエネファームトップセミナー内容

開催方法：対面とアーカイブ配信
対面開催日：令和7年2月21日(金)13：00～17：00　受講者：39名
会　場：共栄火災ビル　8階大会議室

アーカイブ配信：令和7年2月28日（金）13：00～　3月14日（金）18：00　受講者：99名
参加費：対面、アーカイブ配信どちらも5，500円(税込)

開会挨拶：資源エネルギー庁　水素・アンモニア課　課長補佐　乾　俊輔　様
挨　拶：コージェネ財団　燃料電池室長　追田　進司　様
講演内容：

①『今後の家庭用ガス需要開発のあり方とエネファームの役割について』
講師：エネルギー事業コンサルタント 中小企業診断士　角田 憲司 様

②『これだけは知っておきたい！今と未来を変えるエネファーム販売』
講師：大阪ガスマーケティング株式会社 法人営業本部 チーフ　廣田 剛 様

③『売り手から観る、モノ・コト・トキ　買い手から見る、モノ・コト・トキ』
講師：DWK株式会社 代表取締役　山﨑 太一 様

④『パネルディスカッション』
パネラー：エネルギー事業コンサルタント 中小企業診断士　角田 憲司 様
大阪ガスマーケティング株式会社 法人営業本部 チーフ　廣田 剛 様
DWK株式会社代表取締役　山﨑 太一 様
株式会社アイシン E-VC 営業部 主査　鬼頭 明裕 様
パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社 部長　扇原 弘嗣 様

⑤『情報提供』
講師：一般社団法人 日本ガス協会 普及部 業務推進担当部長　菅沼 智浩 様

閉会挨拶：一般社団法人 全国LP協会 専務理事　村田 光司

脱炭素時代を生き残る経営者のためのエネファームトップセミナー申込

日本LPガス協会のホームページからセミナー申込受付



全国LPガス協会のホームページでバナーを掲載、クリックすると日本LPガス協会ホームページのセミナー申込ページに移動



脱炭素時代を生き残る経営者のためのエネファームトップセミナー
チラシ、ポスターを作成

セミナーチラシ

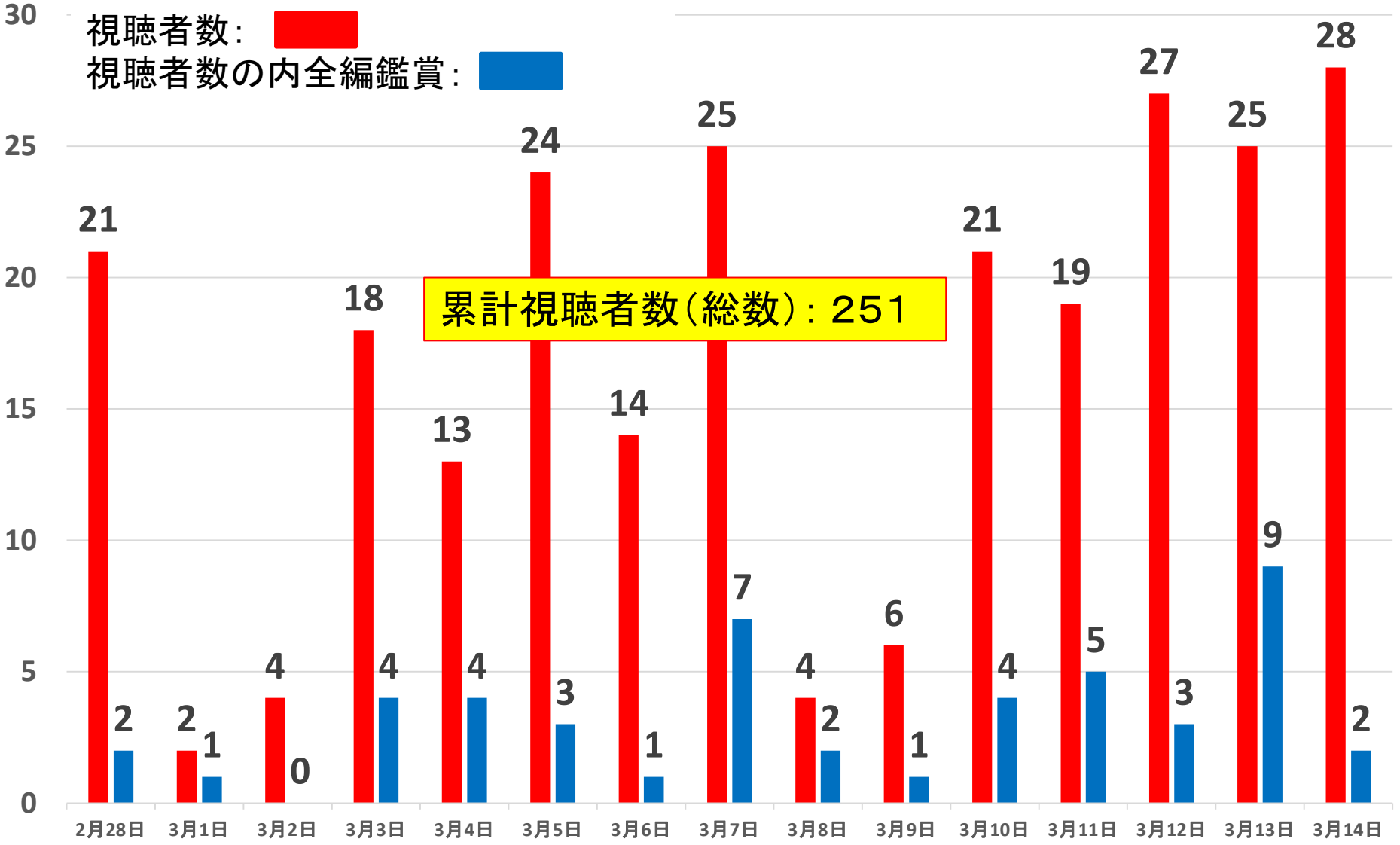


セミナーポスター



エネファームトップセミナーエネファームトップセミナーアーカイブ配信受講者99名の視聴結果

エネファームトップセミナーアーカイブ配信の視聴者数



脱炭素時代を生き残る経営者のためのエネファームトップセミナーアンケート集計結果

対面、アーカイブ配信受講者にアンケートを実施

セミナーアンケート

1. 貴社のエネファームの取組状況についてご記入ください。

①2024年度の販売実績　　台	③過去の販売実績(累計)　　約　　台
②2025年度の販売計画　　台	④「給湯省エネ2024」登録済である*　YES　NO

*「給湯省エネ2024キャンペーン」における事業者登録

2. 本日のセミナーについてのご感想、ご質問、ご意見をご記入ください。

タイトル(講師)	満足度	ご質問・ご意見
①「今後の家庭用ガス需要開発のあり方とエネファームの役割について」(角田講師)	大変満足/満足/やや不満/不満	
②「これだけは知っておきたい！ 今と未来を変えるエネファーム販売」(廣田講師)	大変満足/満足/やや不満/不満	
③「売り手から観る、モノ・コト・トキ　買い手から見る、モノ・コト・トキ」(山崎講師)	大変満足/満足/やや不満/不満	
④パネルディスカッション	大変満足/満足/やや不満/不満	

3. エネファームを販売する上での課題について、乗り越えなければならない壁は何か？ご記入ください。

4. 10年後の2035年、あなたの会社はどうなっていると思いますか？

5. 25年後の2050年、あなたの会社をどのようにしたいと思いますか？

6. 令和7年度は、エネファームを販売できる体制を再構築することを目的として、全国の主要エリアで営業社員を対象に販売セミナーを計画しております。あてはまるものに〇をつけてください。

①営業社員を参加させたい　②営業社員の参加を検討したい　③参加しない

令和7年度エネファームセミナー	
日時:令和7年5月～9月	開催予定地:東京・名古屋・大阪・福岡・沖縄(那覇)
内容:エネファーム販売研修	会費:有料開催
講師:DWK株式会社　代表取締役　山﨑　太一　様	

7. 今後エネファーム販売に関するセミナーで望むことがありましたら、ご記入ください。

アンケート集計結果41名（対面25名、アーカイブ配信16名）の回答

◎受講者138名に対して、41名（約30%）の回答があった。

1.貴社のエネファームの取組状況について記入ください。

①2024年度の販売実績　0台　1台　2台　4台　11台　24台　56台　100台
150台　200台　250台　700台　不明

②過去の販売実績（累計）　1台　2台　3台　4台　7台　8台　10台　12台　70台　90台
100台　550台　600台　900台　3，300台　3，500台
4，000台　10，000台　不明

③2025年度の販売計画　0台　4台　5台　6台　10台　15台　30台　50台　60台
100台　200台　250台　1，000台

④「給湯省エネ2024」登録済である　YES　NO

・YES　19名　・NO　4名　・不明　1名　・無回答　17名

アンケート集計結果41名（対面25名、アーカイブ配信16名）の回答

2.本日のセミナーについてのご感想、ご質問、ご意見を記入ください。

①『今後の家庭用ガス需要開発のあり方とエネファームの役割について』（角田講師）

・大変満足　12名　・満足　27名　・やや不満　0名　・不満　0名　・無回答　2名

ご質問・ご意見

- ・LPガス事業者として取組む役割を再認識できた。
- ・ガス小売業者の進むべき方向性の説明が良かった。
- ・地球環境と省エネに対する必要性について再確認出来た。
- ・GX志向型住宅における支援ではエネファームはオール電化に対抗しえるのでしょうか。
- ・エネファーム販売の土壌がない中、様々な販売方法で取り組み参考になりました。

②『これだけは知っておきたい！今と未来を変えるエネファーム販売』（廣田講師）

・大変満足　13名　・満足　24名　・やや不満　2名　・不満　0名　・無回答　2名

ご質問・ご意見

・エネファーム販売のポイントがまとめられていて大変参考になった。
・ターゲット先のファーストタッチ手法。
・エネファーム販売の取組み、特に既築向け販売は参考になった。
・既築向けのソラエネスマートについての可能性を聞いてみたい。
・エネファームに関する考え方、見方が変わった。
・機能性や効率性など具体的に理解できた。
・イニシャルの回収ではなく、月々、わずかな負担で快適な生活提案できることを理解した。
・LPガス業界は都市ガスと異なり、メンテ専属部署や工事請負業者が少ない状況。面ではなく点の商圏のため整備が難しいと感じている。メーカーポジションである大阪ガス様等地域ごとに施工研修を実施したり、LPガス用エネファーム工事委託可能業者（メンテ含む）ような形の仕組みづくりをしていただけると、“設置工事が面倒”や“故障対応やメンテに手がかかる”というマイナスイメージを払拭できるため、販売面だけでなく技術面での支援も必要と考える。

③『売り手から観る、モノ・コト・トキ　買い手から見る、モノ・コト・トキ』（山﨑講師）

・大変満足　18 名　・満足　19名　・やや不満　0名　・不満　0名　・無回答　4名

ご質問・ご意見

・買い手から見るモノ・コト・トキ興味深く聞けました。
・対面営業のやり方がよく分かった。
・トークの手法の勉強になった。
・現場のお客様担当の考え方を変えるためには、非常にためになった。
・いい商品だから（価格が）高いのは当たり前。が、特に印象に残った。
・エネファームの売り方のコツがわかったような気がする。
・営業、提案に対する考え方や視点などが参考になった。
・エネファーム営業だけでなく、「考え方」そのものが他の営業に通ずるものがあった。
・提案時にどうしてもイニシャルコストの話になるが、コストではなく付加価値としてエネファームの良さを提案できるよう、講演内容を参考にBtoB向けにアレンジしてみたい。
・実践事例を交えての講演で大変満足でした。社員に、ガスを売るのではなく お客さまの困りごとや不安の応対から信頼を築いた先に成果が出ることを再認識致した。
・販売店へもコト売りの提案を広めることができるよう努力したい。

④『パネルディスカッション』

・大変満足　9名　・満足　18名　・やや不満　1名　・不満　0名　・無回答　13名

ご質問・ご意見

・講師、メーカーの生の声が聞けて良かった。
・GHPのような販売網、メンテナンス網を構築してほしい。
・まとめ的な話で時間的には短かったような気がする。
・メーカーには具体的なコスト削減についてスケジュールも含めた踏み込んで話して欲しかった。

3. エネファームを販売する上での課題について、乗り越えなければならない壁は何か？

◎41名全員回答(抜粋)

・価格、耐久性、不具合対応、エネルギー単価、施工体制
・競合商品との差別化（ハイブリッド、エコキュート）
・既築が多いため、設置ハードルが高い。会社としてはエネファーム販売に力を入れていないこと。
・イニシャルコスト面、赤字販売が現状、ガス料金で回収できない。
・エネファーム故障率の改善とメンテナンス体制をいかに整えるか。購入いただいた先が問題。
ある程度の規模の組織でなければアフターが成り立たないのでは？
・販売当初の固定概念を消すこと。

3. エネファームを販売する上での課題について、乗り越えなければならない壁は何か？

・15年経っても世の中に知られてない。
・怖さをなくす。営業社員の決めつけ（値段が高い、説明しずらい、知識がない。）が障壁。
→15年前に戻って、初心に帰って取り組む！
・販売のしくみの構築（営業体制、営業社員のレベル向上他）
・先ずはターゲティング作業とターゲティング先の見える化。
・特約店はエネファーム設置先の一連の流れを理解していただくこと。
・現地調査～搬入・設置～アフターフォロー、各ステップにおけるLPガス会社へのフォロー、研修や動画配信。
・高額商品であること。販売店の商品理解。施工、メンテナンスの人員不足。施工体制。補助金差異。
・スタートアップ事業者の発掘は当社も鋭意行っている最中であるが、どうしても過去の故障イメージが根強い。「性能が良くなっています」という文句を裏付けるための訴求材料が欲しい。
・商品プロモーションの強化、メンテナンス体制整備とスキル拡充（情報収集）。
・営業よりも施工やメンテナンス面が心配である。商品知識が乏しいため、元売へ外部教育等の相談をしたいと感じた。
・販売店を通してユーザー提案をするため、販売店目線でのエネファーム提案方法を創出しなければならない。

3. エネファームを販売する上での課題について、乗り越えなければならない壁は何か？

・新たに提案していく場合は、売り手の気持ち(考え方・モチベーション)が特に重要である。
・メンテナンス対応、販売するガス価格などが課題。
・イニシャル価格が課題。エコジョーズやハイブリッド給湯器に比べるとやはり高い。
・省エネ基準への対応、競合商品・設備とのイニシャルコストの格差。
・従業員のエネファームに対しての苦手意識、施工、メンテナンス。エコワンではできないLPガス販売量の増販、お客様への考え方。購入後のアフターフォロー。
・地球温暖化やエネルギー問題、製品の知識など販売側のしっかりとした知識や提案力の教育。
・エネファーム販売にあたって、エネファームの知識不足、原価の上昇により、提案がしずらい。
・導入費用が高い点、維持費用、設置スペースの確保が課題。
・議題にもあったように、商流や施工・メンテナンス体制確立。支払方法(リース等含め)、ガス料金等の選択肢拡充・整備。
・エネファームは非常に優れた商品だが、LPガス業界では工事やメンテの専属部署を設置している事業者は少なく、ハード面が課題。また商圏買収も多い業界なので業界全体としてエネファーム設置先のお客情報管理を行っていないと、リプレイス提案が疎かになる。
・家、ブランド品、車など価格や採算を意識しないユーザーもいるが、地方において生活用品は価格が最重要。エネファームの価格の低廉化が課題であると認識している。

4. 10年後の2035年、あなたの会社はどうなっていると思いますか？

◎41名中34名回答(抜粋)

- トランジション期間での安定したエネルギー供給会社
- 地域の同業とM＆Aしている。(単独では存続していない)
- 顧客減、数量減で縮小傾向になっている。(何もしなければ)
- 全国展開と海外拠点の拡大を進めている。
- 現状のLPガス、電気、都市ガスの扱いがあるが、メイン商材が変化している。
- ガスがメインではなくなる。
- LPガス数量の減少＝収益減が進んでいる。
- ガス外収益が増加している。
- 住宅設備機器の販売増が進んでいる。
- 販売店の統合、M＆Aによる顧客接点の減少が進んでいる。
- カーボンニュートラルLPガスの販売及びエネファーム設置、燃転の推進が進んでいる。
- LPガスにこだわらないボーダーレス化したエネルギー提供会社へ変化している。
- エネファーム販売ノウハウを確立し、他社よりも家庭用需要開拓の優位性を有している。
- エネファームを年間2,000台販売し、LPガス需要創出につなげている。
- 現場人材(エッセンシャルワーカー)の不足　→　現在、育成、確保の取組強化中。

4. 10年後の2035年、あなたの会社はどうなっていると思いますか？

・LPガス販売は主たる業務であるが、「ソリューションが大きな柱」になっている。
・セミナーを通して多くの学びがあった。脱炭素の動きを受け止めた上で、生き残るためエネファームの販売に取り組んでいる。
・水素ガスを注力とした商材を展開し、ガス販売量は減少していると考える。
・エネルギーを基軸として、生活関連商材・サービス全般を提供する企業になっている。
・販売商材が多岐に渡り、特に脱炭素に関連したエネルギー商材の販売シェアが増加。
・少子高齢化で供給先の減少、それに伴い販売店のM&Aでアカウントを一旦は増えると思うが、アカウントは減少していく事になると思う。
・Jクレジットやボランタリークレジットを活用しCNに対応しつつ、LPガス販売を継続。
・長期ビジョンに向かって変革している。
・定年も伸び社員の高齢化がさらに進む。販売店を買収し取引先が減る。新しい販路拡大が必要。
・LPガスを中心に地道に営業しているとも思う。その逆でリフォーム工事、設備工事を中心に営業している可能性もある。
・正直分かりません。地球環境の変化や戦争、世界情勢や外交上の問題など不安要素が多いのでは・・・・・。

4．10年後の2035年、あなたの会社はどうなっていると思いますか？

・電気事業を始めたことでガスだけでなく、電気を絡めた販売手法などで、ガスと電気の2刀流ができる会社になっていると思う。
・需要家数減、需要家の高齢化、社員平均年齢高、ガス販売量減。
・現在種まきをしている事業が成長し、LPガスへ依存している収益体質からバランスの良い構造に変化している。
・顧客戸数は減少しているが、他燃料からの切替えにより販売量と売上は増加している。

5．25年後の2050年、あなたの会社をどのようにしたいと思いますか？

◎41名中32名回答(抜粋)

・グリーンエネルギーを広く浸透させる。
・エリア　№1のLPガス販売事業者
・ライフラインだけでなく、「オールエネルギー（サービス）パートナー」としたい。
・住宅に関わる（生活）全てのモノを販売する会社。
・どんな機器でも売ることができる営業マン、営業体制がある会社。

5. 25年後の2050年、あなたの会社をどのようにしたいと思いますか？

・グリーンLPガスの販売を100%へ。
・顧客に満足いただけるサービスを提供している組織。
・脱炭素に対応し実現させ、安定供給を提供できる体制。
・エネファームが各家庭に普通に設置され、LPガス需要を支える主力機器となっている。
・地域で自社の社員が必要とされている会社。
・顧客の不安の声に対応し、価値の提供ができる営業、脱炭素時代を生き抜いていく術を敏感に捉えられえる会社にしたい。
・水素ガスを主力とした商材の展開、ガス販売量は減少していると考える。
・時代に合った商材とサービスを提供する顧客に選ばれる会社。
・25年後は定年退職後になるが、今の会社が地域1番の会社であってほしい。
・Jクレジットやボランタリークレジット、更には、グリーンLPガスを活用し、カーボンニュートラルに対応し、事業を継続している。
・カーボンニュートラルなエネルギーを安定的かつ適正な価格水準で供給している。
・地道に地元に密着した「街の便利屋さん」になっていたい。
・電力事業の拡大によって、今よりも大きい会社になってほしいと思う。

5. 25年後の2050年、あなたの会社をどのようにしたいと思いますか？

・あくまで地域密着の企業を第一に、当時の情勢に対応できるようフレキシブルで多角的なマルチ企業を目指す。
・ガス・電気を合わせた販売法などにより、エネファーム・ハイブリッド給湯器の販売量を増やし、新築におけるガス採用率を70%以上で推移できる会社。
・ガスだけでなく、お客様宅のお困りごとをワンストップで解決できる地域No.1企業。
・DX化が進んで中、お客さま起点でくらしのエネルギーを主としたお困りごとを提案解決できるような、くらしに関するコンサルタントを行えるような会社にしたい。
・総合生活産業＆エネルギー事業者として地域密着の会社として基盤強化している会社。

6. 令和7年度は、エネファームを販売できる体制を再構築することを目的として、
全国の主要 エリアで営業社員を対象に販売セミナーを計画しております。
あてはまるものに〇をつけてください。

①営業社員を参加させたい　10名　　②営業社員を参加を検討したい　17名
③参加しない　2名　　④無回答　12名

7. 今後エネファーム販売に関するセミナーで望むことがありましたら、ご記入ください。紫色を付けたのが、6.で①又は②を回答した受講者のコメントです。

・国、地方自治体による補助金申請の情報を希望します。
・ぜひ当エリアでのセミナーをお願いします。(沖縄)
・地域ごとに施工店の紹介をしてもらえるとありがたい。
・各パートを深く掘り下げたセミナーを希望します。
・エネファーム自体の知識を深めるセミナーを希望します。
・エネファームの工事、メンテナンスに対応可能な事業者の情報などを要望します。
・営業手法、エネファーム知識やエネルギーの考え方、行政など、周辺情報を希望します。
・遠隔(青森県)であり、次回開催の際もオンラインになると思いますが参加したい
・今回はアーカイブ配信にて視聴したが、今後は、営業社員に参加させたい。
・小規模販売店でもエネファームを販売できるように環境を整えてほしい。
・販売にあたって会社として整備しておくべき事項は？ 成功/失敗事例やクレーム等の事例共有を希望します。
・BtoB(ハウスメーカーや工務店)向けのセールス手法のセミナー開催を希望します。
・2025年度新規補助事業であります「GX志向型住宅」の実績(対象となった機器)について情報共有をお願いしたい。

一般社団法人全国LPガス協会　主催

2025年度
第1回業務委員会
資料№8-2

エネファーム セミナーのご案内

2025年度は、全国でエネファームを販売できる体制を再構築することを目的として、全国の5会場でエネファームセミナーを開催します。4月からは新築住宅への省エネ基準適合が義務化される中、ガスの新築需要を確保していくために、エネファームの提案活動がたいへん重要な取組みであると考えます。エネファーム販売に関するノウハウを習得できる機会を提供し、「エネファーム力」を身に着けた人材育成を通じて、ガスの営業提案活動を支援してまいります。

全国LPガス協会 エネファームセミナー

研修内容　**エネファーム販売研修**

参加費　**5,500円(税込)**
対面/アーカイブ受講共
(1名当たり、2日間受講費用として)

受講対象者　LPガス事業者／コミュニティーガス事業者
地方都市ガス事業者

講師ご紹介　DWK株式会社
代表取締役
山﨑 太一様



		第1回	第2回	会場
東京		2025年 7/18(金)13:00~17:00 定員30名	2025年 9/9(火)13:00~17:00 定員30名	〈第1回〉一般社団法人 全国LPガス協会 東京都港区新橋1丁目18-6 共栄火災ビル8階会議室 〈第2回〉一般社団法人 日本ガス協会 東京都港区虎ノ門1-15-12 日本ガス協会ビル7階会議室
愛知／豊橋		2025年 8/28(木)13:00~17:00 定員30名	2025年 10/20(月)13:00~17:00 定員30名	サーラエナジー株式会社 愛知県豊橋市駅前大通一丁目55 サーラタワー 6階 会議室
大阪		2025年 6/20(金)13:00~17:00 定員30名	2025年 8/5(火)13:00~17:00 定員30名	株式会社エネアーク関西 大阪市中央区備後町3丁目6番14号 アーバネックス備後町ビル 8階 会議室
福岡		2025年 8/7(木)13:00~17:00 定員30名	2025年 10/6(月)13:00~17:00 定員30名	一般社団法人 福岡県LPガス協会 会議室 福岡県福岡市博多区 山王一丁目10番15号
那覇		2025年 7/7(月)13:00~17:00 定員30名	2025年 10/7(火)13:00~17:00 定員30名	一般社団法人 沖縄県高圧ガス保安協会 那覇市字小禄1831-1 沖縄産業支援センター 会議室
アーカイブ		2025年 8/29(金)~9/12(金) 動画でご視聴	2025年 10/21(火)~11/4(火) 動画でご視聴	

後援　一般財団法人コージェネレーション・エネルギー高度利用センター／日本LPガス団体協議会／日本LPガス協会
一般社団法人日本ガス協会／一般社団法人日本コミュニティーガス協会

こちらにアクセス!

お申込み先
QRコード／URLより
お申込みください

一般社団法人全国LPガス協会（保安・業務グループ）
［お問合せ先］TEL 03-3593-3500　https://forms.gle/YJEBfr9625dVNxydA

◎募集期間：4月16日(水)~5月31日(土) ※先着順で定員に達し次第締切
アーカイブ受講の視聴方法やお支払い方法など、詳しいご案内はお申込み後にお送りするメールにてご確認ください。

2025 年 4 月吉日

2025 年度　エネファームセミナー開催のご案内

一般社団法人　全国ＬＰガス協会
保安・業務グループ

2025 年 2 月開催のエネファームトップセミナーを受けて、全国でエネファームを販売できる体制を再構築することを目的として、2025 年度は、全国の主要エリアにおいて、エネファームセミナーを開催します。

新築需要を中心にエコキュートによる電化傾向が強まり、2025 年 4 月からは新築住宅への省エネ基準適合が義務化される状況において、ガスの新築需要を確保していくために、エネファームの提案活動がたいへん重要な取組みであると考えます。

全国の主要エリアにおいて、エネファーム販売に関するノウハウを習得できる機会を提供し、「エネファーム力」を身に着けた人材育成を通じて、ガスの営業提案活動を支援して参ります。

１．2025 年度　エネファームセミナー開催

・名称：全国 LP ガス協会
　　「エネファームセミナー」
・日時：第 1 回 6 月～8 月　　第 2 回 8 月～10 月　（2 日間開催）
・開催場所：全国主要エリア　（開催地：東京・愛知/豊橋・大阪・福岡・沖縄/那覇）
・受講者：LP ガス事業者・コミュニティーガス事業者・地方都市ガス事業者の営業社員
・会費：5,500 円(税込)　対面/アーカイブ受講共(1 名当たり、2 日間受講費用として)
・研修内容：　エネファーム販売研修
　　講師：DWK 株式会社　代表取締役　山﨑太一様

２．後援/協賛依頼先について

・一般財団法人コージェネレーション・エネルギー高度利用センター（後援/協賛）
・日本 LP ガス団体協議会(後援)
・日本 LP ガス協会(後援/協賛)
・一般社団法人日本ガス協会(後援/協賛)
・一般社団法人日本コミュニティーガス協会(後援)

３.①東京

開催日：第 1 回　7 月 18 日(金)　会場：共栄火災ビル 8 階会議室
第 2 回　9 月 9 日(火)　会場：日本ガス協会 7 階会議室

②愛知/豊橋：一般社団法人愛知県 LP ガス協会

開催日：第 1 回　8 月 28 日(木)　会場：サーラエナジー株式会社 6 階会議室
第 2 回 10 月 20 日(月)　会場：サーラエナジー株式会社 6 階会議室

③大阪：一般社団法人大阪府 LP ガス協会

開催日：第 1 回　6 月 20 日(金)　会場：株式会社エネアーク関西 8 階会議室
第 2 回　8 月 5 日(火)　会場：株式会社エネアーク関西 8 階会議室

④福岡：一般社団法人福岡県 LP ガス協会

開催日：第 1 回　8 月 7 日(木)　会場：福岡県 LP ガス協会会議室
第 2 回　10 月 6 日(月)　会場：福岡県 LP ガス協会会議室

⑤沖縄/那覇：一般社団法人沖縄県高圧ガス保安協会

開催日：第 1 回　7 月 7 日(月)　会場：沖縄産業支援センター会議室
第 2 回　10 月 7 日(火)　会場：沖縄産業支援センター会議室

⑥アーカイブ配信　受講期間：各 2 週間

開催日：第 1 回　8 月 29 日(金)～9 月 12 日(金)
第 2 回　10 月 21 日(火)～11 月 4 日(火)　以上

エネファームパートナーズ・コージェネ財団共催

2025年度
第1回業務委員会
資料№8-3



ENE・FARM
エネファーム

エネファーム普及セミナー 2025

参加費 無料

2050年カーボンニュートラルに向けて エネファームの販売意義と最新情報を共有します！

【開催方式】ハイブリッド（会場／Web）
【対　　象】エネファーム販売事業者
（ガス事業者、販売店など）の皆さま

開催会場・日時

東京	2025. 5/29（木）	TKPガーデンシティPREMIUM田町 カンファレンスルーム4E 東京都港区芝浦3-1-21　msb Tamachi 田町ステーションタワーS　4階 S401
名古屋	2025. 6/3（火）	ツドイコ 名駅東 カンファレンスセンタ　RoomD 愛知県名古屋市中村区名駅3-21-7 名古屋三交ビル2F
福岡	2025. 6/27（金）	パピヨン24　第7会議室 福岡県福岡市博多区千代１丁目17-１

講演テーマ・タイムスケジュール

※講演テーマ・タイムスケジュールは変更になる場合がございます。

第一部
13:30〜15:30
主催：エネファームパートナーズ

① エネファーム普及意義について（エネファームパートナーズ）
② 講演：国のエネルギー政策とエネファームへの期待（経済産業省様）
③ 講演：【東京・名古屋】家庭のエネルギー動向（住環境計画研究所様）
【福岡】住宅の省エネ政策（エー・ディー・エル一級建築士事務所様）
④ 講演：省エネ制度（関西ビジネスインフォーメーション様）
⑤ エネファーム最新機種紹介（東京・福岡：パナソニック様、名古屋：アイシン様）
⑥ 家庭用補助金説明（日本ガス協会様）

休　憩

第二部
15:45〜17:15
主催：コージェネ財団

① エネファームに関する情報提供（コージェネ財団）
② 講演
【東京・名古屋】現場からみたエネファーム販売意義と販売時のポイントについて（東京ガス横浜中央エネルギー　黒田 宏記様）
【福岡】エネファーム提案力養成研修と現場実践時のポイント
（西部ガス 北九州リビング営業部　鬼頭 憲司様）

お申込み方法

エネファームパートナーズ、FCネットワーク会員の皆さまに、お申込み案内のメールをお送りします。
メール内リンク、もしくは下記URL「お知らせ」よりお申込みください。締め切りは各開催日の1週間前まで。

▶ エネファームパートナーズ　https://www.gas.or.jp/user/comfortable-life/enefarm-partners/

【お問合せ窓口】
エネファーム普及セミナー2025事務局（Email：yusuke-takeda@kbinfo.co.jp）

コージェネ財団主催



ENE・FARM エネファーム

参加費 無料

エネファーム普及セミナー 2025

2050年カーボンニュートラルに向けて
エネファームの販売意義と最新情報を共有します！

【開催方式】ハイブリッド（会場／Web）
【対　　象】エネファーム販売事業者
（ガス事業者、販売店など）の皆さま

開催会場・日時

広島
2025. 6/26（木）
TKPガーデンシティPREMIUM 広島駅前
カンファレンスルーム5A
広島県広島市南区大須賀町13-9ベルヴュオフィス広島 5階

仙台
2025. 7/31（火）
TKP仙台西口ビジネスセンター
カンファレンスルーム2A
宮城県仙台市青葉区本町1-5-31 シエロ仙台ビル２F

講演テーマ・タイムスケジュール

※講演テーマ・タイムスケジュールは変更になる場合がございます。

14:30
～
17:00

主催：コージェネ財団

① エネファーム普及意義について（日本ガス協会様）
② 講演：国のエネルギー政策とエネファームへの期待（日本ガス協会様）
③ 家庭用補助金の説明（日本ガス協会様）
④ エネファームに関する情報提供（コージェネ財団）
⑤ 講演：現場からみたエネファーム販売意義と販売時のポイントについて
（東京ガス横浜中央エネルギー　黒田 宏記様）

お申込み方法

FCネットワーク会員の皆さまに、お申込み案内のメールをお送りします。
メール内リンク、もしくはコージェネ財団燃料電池室会員ページ「研修会・セミナー」よりお申込みください。
締め切りは各開催日の1週間前まで。

▶ コージェネ財団 燃料電池室 研修会・セミナー　https://www.ace.or.jp/fc/m/info_event/index.php

【お問合せ窓口】
コージェネ財団　燃料電池室（email：info-fc@ace.or.jp）

2025 年 4 月 25 日

エネファームパートナーズ事務局
コージェネ財団　燃料電池室

「エネファーム普及セミナー2025」の開催について

春暖の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、エネファームパートナーズ及びコージェネ財団燃料電池室は、更なるエネファームの普及に対する意識の醸成を目的に「エネファーム普及セミナー2025」を 5 つの都市（東京、名古屋、福岡、広島、仙台）で開催いたします。

2024 年度のエネファーム出荷台数（2024 年 4 月～2025 年 3 月）は、29,933 台（累計 549,575 台）となり、2012 年度（24,517 台）以来、12 年振りに 3 万台を下回りました。一方で、本年 2 月には第 7 次エネルギー基本計画が閣議決定され、また、4 月からは全ての新築住宅の省エネ基準への適合義務化がスタートするなど 2050 年カーボンニュートラル化に向けた取り組みが加速されてきており、エネファーム普及に向けて業界全体が取り組んでいくことがますます重要となってまいります。

本セミナーでは国の政策面の変化やエネファームに関する各種情報を提供させていただくと共に、エネファームの販売意義を皆さまと共有することで、更なるエネファームの普及を図って参りたいと存じます。是非ご参加くださいますようお願い致します。

敬具

記

1. エネファーム普及セミナー2025 概要

・ エネファーム普及セミナー2025 は、2 つの開催方式があります。開催内容、開催場所、対象者等をご確認の上、ご参加をお願いいたします。

開催方式	**＜方式Ⅰ＞** **『エネファームパートナーズ』および** **『コージェネ財団』の共催によるセミナー**	**＜方式Ⅱ＞** **『コージェネ財団』主催によるセミナー**
開催形式	・2 部制 **【第 1 部】エネファームパートナーズ主催** **【第 2 部】コージェネ財団主催**	・1 部制 **コージェネ財団主催**
対象者	エネファーム販売事業者(ガス事業者、販売店等) **【第 1 部】** エネファーム販売に携わる**管理者層**～実務者層 **【第 2 部】** エネファーム販売に携わる**実務者**	エネファーム販売事業者(ガス事業者、販売店等) ※エネファーム販売に携わる**実務者**
開催場所	**東京、名古屋、福岡**	**広島、仙台**
開催日	**東京：**2025 年 5 月 29 日（木） **名古屋：**2025 年 6 月 3 日（火） **福岡：**2025 年 6 月 27 日（金）	**広島：**2025 年 6 月 26 日（木） **仙台：**2025 年 7 月 31 日（木）

2. セミナー内容　＜方式Ⅰ＞『エネファームパートナーズ』および『コージェネ財団』共催セミナー

（1） 開催場所：①東京、②名古屋、③福岡

（2） 参加費：**無料**

（3） 開催方式：ハイブリッド方式（会議室参加または Web 参加）

（4） 対象者：エネファーム販売事業者（ガス事業者、販売店等）

【第 1 部】販売に携わる管理者～実務者

【第 2 部】販売に携わる実務者

（5） 概要

①東京会場	②名古屋会場	③福岡会場
2025 年 5 月 29 日（木）開催	2025 年 6 月 3 日（火）開催	2025 年 6 月 27 日（金）開催
【第 1 部】ｴﾈﾌｧｰﾑﾊﾟｰﾄﾅｰｽﾞ主催 ＜開催時間＞**13 時 30 分～15 時 30 分** ・エネファーム普及意義について ・講演：国のエネルギー政策とエネファームへの期待（経済産業省） ・講演：家庭のエネルギー動向 ・講演：省エネ制度 ・家庭用補助金説明 【第 2 部】コージェネ財団主催 ＜開催時間＞**15 時 45 分～17 時 15 分** ・エネファームに関する情報提供 ・講演：現場からみたエネファーム販売意義と販売時のポイントについて	【第 1 部】ｴﾈﾌｧｰﾑﾊﾟｰﾄﾅｰｽﾞ主催 ＜開催時間＞**13 時 30 分～15 時 30 分** ・エネファーム普及意義について ・講演：国のエネルギー政策とエネファームへの期待（経済産業省） ・講演：家庭のエネルギー動向 ・講演：省エネ制度 ・家庭用補助金説明 【第 2 部】コージェネ財団主催 ＜開催時間＞**15 時 45 分～17 時 15 分** ・エネファームに関する情報提供 ・講演：現場からみたエネファーム販売意義と販売時のポイントについて	【第 1 部】ｴﾈﾌｧｰﾑﾊﾟｰﾄﾅｰｽﾞ主催 ＜開催時間＞**13 時 30 分～15 時 30 分** ・エネファーム普及意義について ・講演：国のエネルギー政策とエネファームへの期待（経済産業省） ・講演：住宅の省エネ政策 ・講演：省エネ制度 ・家庭用補助金説明 【第 2 部】コージェネ財団主催 ＜開催時間＞**15 時 45 分～17 時 15 分** ・エネファームに関する情報提供 ・講演：エネファーム提案力養成研修と現場実践時のポイント

（6） 申込方法（Web アンケートによる申込み）

・申込みは以下の出席されたい会場のリンクより参加申込みをして下さい。

① **東京会場：**https://f.msgs.jp/n/form/sbbb/sJQ9Gbxfp9HZdvJeyStEB

② **名古屋会場：**https://f.msgs.jp/n/form/sbbb/k9BhF7uvmJZp8keTLLHnb

③ **福岡会場：**https://f.msgs.jp/n/form/sbbb/LtyTakFVvabQ-vxBMNGfR

【留意事項】

・会議室参加は席に限りがあるため、先着順となります。

・Web 参加人数の上限はございません。

・第 1 部と第 2 部のいづれも上記から申し込み可能です。

・第 1 部と第 2 部の間に休憩が 15 分ございますので、第 2 部のみ受講されたい場合、会場では休憩の間に会場へお越しいただくか、Web では時間となりましたら参加して下さい。

・会議室参加に人数の上限がある為、1 社で複数のお申し込みをされた場合、事務局より調整のご依頼をさせて頂く可能性があります事ご了承願います。

（7） 参加申込締め切り（セミナー開催日の 1 週間前を期限としています）

① 東京会場：2025 年 5 月 22 日（木）17 時まで

② 名古屋会場：2025 年 5 月 27 日（火）17 時まで

③ 福岡会場：2025 年 6 月 20 日（金）17 時まで

（8） 出席方法

＜会議室参加の場合＞

① 東京会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 田町 カンファレンスルーム 4E

※【第 1 部・第 2 部共通】受付 13 時～ 【第 2 部のみ】受付 15 時 30 分～

※住所：東京都港区芝浦 3-1-21 msb Tamachi 田町ステーションタワーS 4 階 S401

https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gcp-tamachi/access/

② 名古屋会場：ツドイコ 名駅東 カンファレンスセンタ RoomD

※【第 1 部・第 2 部共通】受付 13 時～ 【第 2 部のみ】受付 15 時 30 分～

※住所：愛知県名古屋市中村区名駅 3-21-7 名古屋三交ビル 2F

https://tsudoico.net/assets/pdf/access.pdf

③ 福岡会場：パピヨン 24 第 7 会議室

※【第 1 部・第 2 部共通】受付 13 時～ 【第 2 部のみ】受付 15 時 30 分～

※住所：福岡県福岡市博多区千代 1 丁目 1 7 － 1

https://www.papillon24.jp/access/

＜Web 参加の場合＞

・申込後に別途配信するメール（セミナー開催日の 1 週間前を目途に送付）にて、Web 参加リンクをご連絡します。なお、お申込み直後に配信する受付完了メールとは別のメールです。

（9） 問合せ窓口

エネファーム普及セミナー2025 事務局（Email：yusuke-takeda@kbinfo.co.jp）

3. セミナー内容　＜方式Ⅱ＞『コージェネ財団』主催セミナー

（1） **開催場所**：①広島、②仙台

（2） **参加費**：**無料**

（3） **開催方式**：ハイブリッド方式（会議室参加または Web 参加）

（4） **対象者**：エネファーム販売事業者（ガス事業者、販売店等）の販売に携わる実務者

（5） **概要**

①広島会場	②仙台会場
開催日：2025 年 6 月 26 日（木）	**開催日**：2025 年 7 月 31 日（木）
＜開催時間＞**14 時 30 分～17 時** ・エネファーム普及意義について ・国のエネルギー政策とエネファームへの期待（日本ガス協会より） ・家庭用補助金の説明 ・エネファームに関する情報提供 ・講演：現場からみたエネファーム販売意義と販売時のポイントについて	

（6） **申込方法（Web アンケートによる申込み）**

・申込みは以下の出席されたい会場のリンクより参加申込みをして下さい。

① **広島会場**：https://www.ace.or.jp/fcseminarNew/info_semi.php?SemiId=2025031212413550

② **仙台会場**：https://www.ace.or.jp/fcseminarNew/info_semi.php?SemiId=2025031212562243

【留意事項】

・会議室参加は席に限りがあるため、先着順となります。

・Web 参加人数の上限はございます（詳細は上記リンクより HP をご参照ください）。

・会議室参加、Web 参加共に人数の上限がある為、１社で複数のお申し込みをされた場合、事務局より調整のご依頼をさせて頂く可能性があります事ご了承願います。

（7） **参加申込締め切り**（セミナー開催日の 1 週間前を期限としています）

① 広島会場：2025 年 6 月 19 日（木）17 時まで

② 仙台会場：2025 年 7 月 24 日（木）17 時まで

（8） **出席方法**

＜会議室参加の場合＞

① 広島会場：カンファレンスルーム 5A｜TKP ガーデンシティ PREMIUM 広島駅前｜TKP 貸会議室ネット

※受付 14 時～

※住所：広島県広島市南区大須賀町 13-9 ベルヴュオフィス広島 5 階

https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gcp-hiroshima-ekimae/access/

② 仙台会場：カンファレンスルーム 2A｜TKP 仙台西口ビジネスセンター｜TKP 貸会議室ネット

※受付 14 時～

※住所：宮城県仙台市青葉区本町 1-5-31 シエロ仙台ビル２F

https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/bc-sendai-nishiguchi/access/

＜Web 参加の場合＞

・申込後に別途配信するメール（セミナー開催日の 1 週間前を目途に送付）にて、Web 参加リンクをご連絡します。なお、お申込み直後に配信する受付完了メールとは別のメールです。

（9） 問合せ窓口

コージェネ財団　燃料電池室（email：info-fc@ace.or.jp）

以上

事業名

既築賃貸集合住宅における高効率な給湯器普及拡大事業

2025年4月25日

代表事業者
（一社）日本ガス石油機器工業会

共同事業者
（一社）日本ガス協会
（一社）日本コミュニティーガス協会

1．デコ活補助事業内容

【事業目的】

家庭のエネルギー消費の約3割を占める給湯分野の省エネ化を図ることで、家庭でのCO_2削減を行う中でも課題の多い既存賃貸住宅の推進において、ボトルネック解決への活動を消費者（国民）含むステークホルダーへ実施するため、活動コスト投下に対する支援をお願いしたい。

【ボトルネック】

・新築住宅においては一定程度エコジョーズの導入が進んでいるものの、特に既築集合住宅におけるエコジョーズ化が進んでいない。
・既築集合住宅における給湯器導入に関わる住宅の居住者、賃貸住宅オーナー、給湯器販売・施工者いずれにもボトルネックがあると考えている。

居住者	賃貸住宅オーナー等	給湯器販売・施工者
省エネのメリットが共有できていない ➡ いわゆる オーナー・テナント問題		現場レベルでの 機器情報他の認識不足
・エコジョーズの省エネ性について認識していない ・省エネ設備の有無を基準に住宅を選ぶことが少ない	・省エネ設備導入による費用メリットがオーナーに生じない ・省エネ設備導入による入居率向上が期待されていない	・エコジョーズ導入の意義やメリットを認識しておらず、安価な従来型給湯器を優先的に取り扱う ・エコジョーズを普段取り扱っておらず必要な工事等が分からない

1．デコ活補助事業内容

【各ステークホルダーへの実施内容】

	居住者	賃貸住宅オーナー等	給湯器販売・施工者
目指すべき姿	・**「省エネで快適な設備の導入有無」が住宅選択の重要な基準となる** **（国民の行動変容へ繋げる）**	・入居率向上のためには省エネで快適な設備導入が必要と考え、エコジョーズや窓リノベ等省エネ設備を積極的に導入する	・エコジョーズのメリットを知り、給湯器交換時に積極的に提案する ・エコジョーズ導入に必要な工事を把握 ・窓リノベ工事等の受注
必要な取組	・省エネ部位ラベルの認知拡大に向けたPR ・エコジョーズの省エネ性、光熱費削減効果をPR ・窓リノベの省エネ性、生活環境病抑制効果をPR	・省エネ部位ラベルの内容や意義、入居率や関心向上効果をPR ・エコジョーズの省エネ性、光熱費削減効果をPR	・エコジョーズの省エネ性、光熱費削減効果をPR ・エコジョーズ導入に必要な工事を説明 ・開口部業界との工事連携の説明
主なPR手段	・**地域メディアや大手住宅検索サイト等を使った広告や貸し手側からの説明等**	・**賃貸住宅オーナー向けメディアでの広告等** ・**エリア説明会、セミナー等**	・**エリア説明会等** ・**メーカー等仕入れ事業者からの施工マニュアル活用提案等**

1．デコ活補助事業内容

【実施手段等】

①エリア説明会　リアル形式での展開

・対象の関係者が賛同と協働が得られやすいエリア（自治体単位）及び近年雨水排水となった地域等で給湯器販売・施工者向けに説明会を開催を想定（全国7か所程度）※WEB開催も併行して検討

■エリア説明会
開催地検討先
2024_4月現在



②関連団体等の行事・機能等を使った展開

・（公財）日本賃貸住宅管理協会等を始めとする連携事業者や、業界関連団体行事などでの展開

③業界専門広告媒体を介した広告等での展開　**（主にBtoCを意識）**

・㈱全国賃貸住宅新聞社、大手住宅検索サイト運営事業者他

以上の事業を主に
2025年6月～2月末にて
スケジュールを調整して
実施予定。

■ 事業実施スケジュール(案)

令和7年4月11日現在

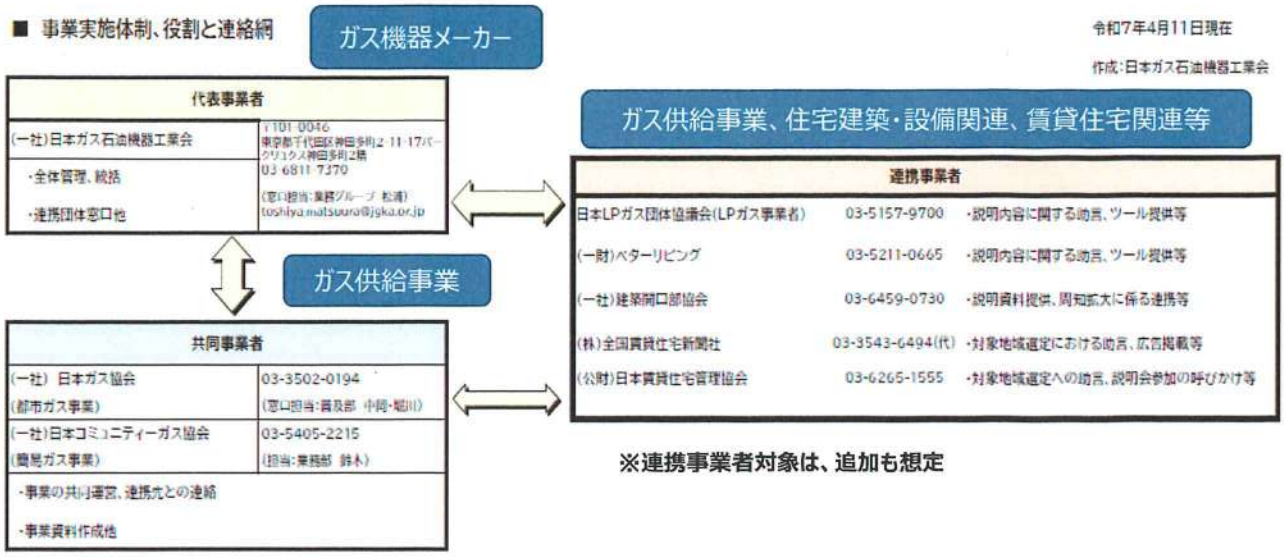
時期		主な活動予定内容	備考
2025年	6月	ターゲット地域選定	
		エコジョーズの省エネメリット、省エネ部位ラベル説明手引作成	
		日本賃貸住宅管理協会 会員向けブース出展	
	6月～7月	オーナー向け広告出稿	
	6月～9月	賃貸集合住宅オーナー、給湯器販売・施工者向け説明会	
	8月～9月	賃貸住宅検索サイトへの広告出稿	
	9月～10月	オーナー向け広告出稿	
	11月	日本賃貸住宅管理協会 会員向けブース出展	
2026年	1月	賃貸集合住宅オーナー、給湯器販売・施工者向け説明会 へのアンケート調査（給湯器導入への意識の変化、導入割合の変化、等を想定）	
2026年	2月	上記アンケート結果を基に賃貸住宅オーナーに対する「成功の型」分析・取りまとめ	事業が出来完了と事業完了報告書作成
	随時	日報協メルマガ発信	

2. 補助事業実施体制

■ 事業実施体制、役割と連絡網

令和7年4月11日現在

作成：日本ガス石油機器工業会



※連携事業者対象は、追加も想定

3. 補助事業実施効果

●ステークホルダー（入居者・賃貸住宅オーナー・給湯器販売・施工者）毎の活動による行動変容合計での CO2削減効果（計画想定）

行動変容人数 2,308人　CO2削減効果 60t-CO2/年

翌年は、本年度の変容者が1人以上へ働きかけを想定し2倍を見込む

4. 補助金投入の必要性

●エリア説明会　：会場ごとでの集客には、いろいろな広報手段が必要となる。

●媒体活用広報　：マスでの実施が望まれることから、相当なコストがかかる。

➡ 現在、高効率な給湯器についての認知・理解が低い。
ここの大幅向上を図るには、可能な規模でコスト集中投下を行いたい。

5. 補助事業継続発展性

●給湯器は新たに設置されると、基本的に10年以上使用されることから、高効率な給湯器（エコジョーズ等）に交換すると、環境保全効果（CO2削減）は中長期にわたり確保できると考える。

●情報に関心のある賃貸住宅オーナー、管理会社も多いと思われることから、給湯省エネ化の成功の型を作り、それを基に他事業者へ展開・拡大していく。

以上

2025年度
第1回業務委員会
資料№9

2025/05/02

2025年度　業務部報告

1．ガス事業法遵守に向けたフォローアップ

1.(1)　ガス事業法における手続等の周知・徹底

1.(1)-1　今年度内に発刊する「Q&A（業務編）」及び昨年度発刊した「申請書・届出書記載例（業務編）」を使用した講習会の実施、事業者からの問い合わせ対応し、合わせて、利用者の意見・感想を収集し改定版の作成を検討する。

- 4月18日「Q&A」校了。30日一部納品。
- 「コミュニティーガス事業がよくわかる業務と保安・技術のQ&A」は4月発刊にずれ込んだが、各支部の講習会には間に合った。講習会での質問、問い合わせ等を参考に改定版発行に備える。

1.(1)-2　ガス事業法令集は常備・携行するには、重厚すぎる書籍になっている。またコミュニティーガス事業に関係しない法令・条文も多い。コミュニティーガス事業に特化した法令集（業務編）を編纂・刊行を検討する。

1.(2)　経過措置料金規制団地への継続的な対応支援

1.(2)-1　令和８年度の標準係数改定に向け、準備資料を収集・作成し、当局との協議に入る。

1.(2)-2　前準備として、スマートメーターの普及、コンビニ払い等支払い手段の多様化、郵送料の値上げ等、コミュティーガス事業を取り巻く業務内容・諸費用が劇的に変化している。料金制度検討WG開催し、標準係数への反映要否を検討する。

- 2025年2月に開催した第89回料金制度検討WGにおいて、現行の標準係数算定方式を維持することを確認した。8月下旬に予定している第90回同WGに向け、算定資料の収集を行う予定。

２．ＣＮ時代に向けたコミュニティーガスの在り方に関係する情報の収集及び紹介

2-1　グリーンＬＰガス、水素混焼等の脱炭素・低炭素化に関する調査・研究事例及び省エネルギーに資する配送効率化等の取組み事例の収集を継続する。

2-2　コミュニティーガス団地における省エネ活動を、地域や事業者のカーボンオフセットに利用する方策があるか調査する。

３．経営基盤の強化

3.(1)　コミュニティーガスの認知度向上

3.(1)-①　需要家に対するコミュニティーガス認知度向上施策継続

「認知度向上ポスター（仮題：グリーンＬＰガスへの様々な取組み）」を企画し、作成・発行する。（「災害に強い」「脱炭素に有効」は既に作成発行済。）

- ポスター第４弾の原案作成。

3.(1)-②　液石専業事業者に対するガス事業法のコミュニティーガス事業に関する情報提供

Ｑ＆Ａ（業務編）冒頭の【序章】を利用し、液石専業事業者にも理解して頂く方策を検討・実施する。（全Ｌ協と相談。）

3.(1)-③　住宅建築関係団体との需要開発に資する情報交換継続

日団協あるいはコラボを通じて住宅建築関係団体との交流機会は増加している。これからも自然災害に強く、被災時の避難生活における主要なエネルギーであり、回復も早い、ＬＰガスのコミュニティーガス事業の活用を提案する。

- 7月2～3日開催のコラボ・住宅関連団体合同施設見学会に参加決定

3.(2)　コミュニティーガスの需要促進

3. (2)-①　建替・リフォーム時のガス需要確保と機器販売促進等のための情報収集・発信

- ＬＰガス業界におけるＣＮトランジション期間の主要テーマは、「省エネ」と「燃転」になっている。ＬＰガス事業者は、ＬＰガス需要の減少を覚悟して、需要家に省エネの必要を説明し、高効率機器の利用を薦めることになる。一方でＣＯ2 排出量の多い「灯油・Ａ重油」機器からＬＰガス機器への転換を進めることで、ＣＯ2 排出量の削減を行うとともに、ＬＰガス需要の維持・向上を図ることとなる。

- 高効率機器としては、エコジョーズ・ハイブリッド給湯器、エネファームが挙げられる。コラボでは日本ガス石油機器工業会と協力して、環境省のデコ活の活用も視野に入れ、主に既設集合住宅におけるエコジョーズ普及のため、ドレン水の雨水処理を認めていない自治体が雨水処理を認めるための活動を行っており、全自治体で雨水処理が認められるよう活動を継続する。

  - オーナー・管理会社対象説明会を企画、デコ活に補助金を申請（共同申請）
  - 補助金交付のためのヒアリングに参加

- また燃転活動では、コミュニティーガスの場合、家庭用需要が大部分を占めるため、ファンヒーター等の灯油機器をＬＰガス機器に置き換える、下取りセール等が有効と思われ、これに資する方策を検討する。

  （全Ｌで既に対応済みと思われるが、要確認。）

  - 全Ｌに確認したところ、各都道府県協会に任せているとのこと。

3. (2)-②　会員事業者による顧客接点強化活動の推進支援

- 既に作成済みのパンフレット等は支部の要請に応じ増刷する。

3.(2)-③　新たな普及促進につながる情報提供

Q 1. 資源エネルギー庁の制度設計専門会合、ガス事業制度検討WG、あるいは日団協・コラボの諸会議等で入手した情報で、会員事業者に資すると思われるものについては、協会ＨＰや業務委員会を通じて提供する。

【付録】会員事業者等からの問い合わせ対応(2025/3/5以降)

Q 1.　4／3　HP　北海道　会員

経過措置団地において、特定製造所に対する事業所税非課税措置は存続していますか？

✓　存続しています。資料送付。

Q 2.　4／3　関東　会員

規則13条によると原料LPGの熱量は最低値と標準地を記載することになっているが、協会作成のガス小売供給約款(一例)には標準値のみしか記載されていない。何故か？

✓　コミュニティーガスの場合、原料ＬＰＧの熱量の測定は規則第17条の規定により免除されている。これを受けて標準値の記載のみで足りると改正時に確認している。

Q 3.　4／8　本部　正会員

自社が供給するコミュニティーガス団地内で、自社が液石供給を行って良いか？

✓　改正前に認可を受けた団地であれば不可と考えます。少なくとも好ましくはありません。液石供給を行う場合には液石供給を行わなければならない理由が必要と考えます。2017年改正後に届け出た団地であれば、液石供給は可能です。コミュニティーガス団地と液石供給が混在していること、例えば集合住宅70戸が存在する街区内にある戸建住宅に液石供給を行うことは問題になりません。

Q 4.　4／18　関東　会員

供給計画第5表の記入方法について教えてほしい。「自社ガス発生量」には何の数字を入れますか？「最大ガス需要見込み」にはどの数字を入れれば良いですか？一つの団地に複数の特定製造所がある場合、合算して記載しますか？分割して記載しますか？

✓　「自社ガス発生量」は、ガス小売登録申請または届出に記載した「供給能力の確保の見込み」を記載。「最大ガス需要見込み」は「最高ピーク時ガス需要量」を記載。供給計画の記載要領には「製造所別の記載」とは書かれてないので合算して記載で良い。データは持っておく必要がある

Q 5.　4／21　TEL　四国　会員

供給地点の減少を届け出ることを検討している。この場合供給計画の変更についても届け出る必要がありますか？

✓　供給地点の減少は「最大ガス需要見込み」を引き上げるものではなく、供給計画の変更は不要です。

Q 6.　4／22　TEL　東海　会員

自由化団地において、ガス料金を集金する際の費用を請求することは可能と思うが、約款および14書面等のモデル、実施している事業者の情報は無いか？

✓　ホームページに集金業務の有料化を案内している事業者はある。約款・交付書面のモデルは無い。約款の「26. 料金の支払方法」と、交付書面に、集金員訪問に係る手数料はお客様にご負担いただくことを記載することを案内した

Q 7.

以　上

（資料提出日：5月7日）
2025年5月9日
ENEOSグローブ株式会社

2025年度
第1回業務委員会
資料№10-1

事業用原料の需給・価格動向について（海外マーケット動向）

1.最近の原油動向

【3月】

・3月のWTI原油はひと月を通じた終値は＄65/bbl台～＄71/bbl台で推移した。2月後半以降の下落基調が月初も3営業日続いたが、以降徐々に値を戻す動きとなった。

・主な価格上昇要因は次の3点。①ロシアのノバク副首相が3/7にOPECプラスの4月から減産を縮小する方針について、市場に不均衡があるようなら決定が覆る可能性があると示唆したこと。②3/11、イエメンの武装組織フーシが紅海などを通過するイスラエル船への攻撃を再開すると表明したことや、3/19にはイスラエル軍が19日にパレスチナ自治区ガザへの地上作戦を開始するなど、1月に合意した停戦の継続に懸念が生じたこと、③3/24、トランプ大統領がベネズエラから石油や天然ガスを購入する国（主に中国やインドをターゲットとしているとみられる）に対し、4/2から25%の追加関税を課す方針を示し、原油需給に引き締まりが生じる観測がなされたことがあげられる。

【4月】

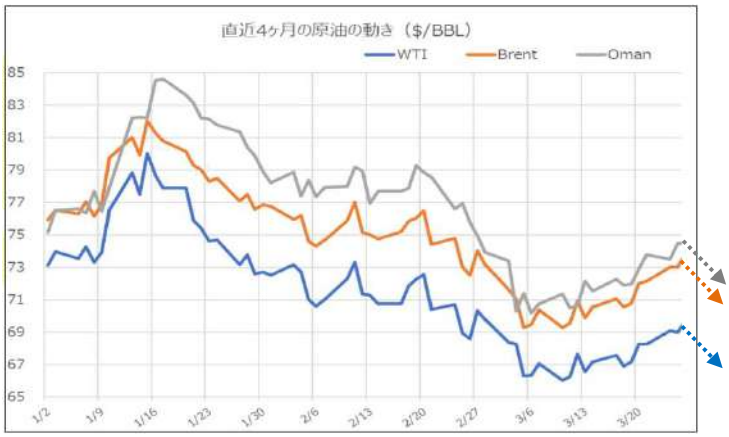
・４月のWTI原油はひと月を通じた終値は＄58/bbl台～＄71/bbl台のレンジにて下落基調で推移した。

・トランプ大統領が4/2に全世界を対象とした相互関税の詳細を発表したことにより、世界経済の減速懸念が強まり４月頭には＄71/bbl台だったが、一時＄55/bbl台まで急落し2021年4月以来4年分の安値を付けた。

・一方で、4/9にトランプ大統領が複数の国・地域に対する関税の引き上げを”90日間一時停止すると”発表したことにより、関税が世界景気を下押しするとの警戒がいったん後退し、原油先物を買い戻す動きが広がった（原油先物の上昇率は2024年10月以来の大きさ）。

・今後もWTI価格は、トランプ政権による関税政策の持続・拡大の有無や中国の動向によって大きく左右される可能性があるため注視する必要がある。

・4月最終週はOPECプラスが6月からの生産方針について増産拡大を提案する見通しと報じられた結果、供給過剰を意識した原油売りが活発化し、前週比で値を下げた。



【原油価格推移】

($/BBL)	1StQrt	2NdQrt	3RdQrt	1月	2月	3月	4ThQrt	2024FY	4月	4/23	4/24	4/25	4/28	4/29	4/30	先週比
WTI	80.6	75.1	70.3	75.1	71.2	67.9	71.4	74.3	63.0	62.3	62.8	63.0	62.1	60.4	58.2	(▲4.1)
BRENT	85.0	78.5	74.0	78.3	75.0	71.5	74.9	78.1	66.5	66.1	66.6	66.9	65.9	64.3	63.1	(▲3.0)
OMAN	85.2	78.3	73.5	80.2	77.6	72.4	76.7	78.4	67.9	70.0	68.3	67.8	67.3	65.3	62.4	(▲7.5)

2.ＬＰＧ（ＣＰ）の動向

5月ＣＰは、Ｐ：＄610、Ｂ：＄590（4月29日通知）

プロパンは前月比▲＄5、ブタンは前月比▲＄15の下落となった。気温上昇＝需要減少時期の到来や米国の関税政策に伴う世界経済の減退予測から、原油その他に引きずられ下落予測ではあったが、中国の対米報復関税措置がLPGに引き続き適用されることもあり、中東玉需要が堅持されるとの思惑から当初の市場予想より高めの値付けとなった（AL等価比は100％超え）。

【ＬＰＧ価格推移（ＣＰ）】

＄／トン

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
プロパン	2023FY	555	555	450	400	470	550	600	610	610	620	630	630
	（ＡＬ等価比）	84%	79%	79%	64%	69%	75%	76%	80%	85%	93%	93%	93%
	2024FY	615	580	580	580	590	605	625	635	635	625	635	615
	（ＡＬ等価比）	88%	78%	82%	83%	83%	93%	101%	102%	104%	102%	95%	95%
	2025FY	615	610										
	（ＡＬ等価比）	98%	103%										
ブタン	2023FY	545	555	440	375	460	560	615	620	620	630	640	640
	（ＡＬ等価比）	84%	80%	70%	60%	68%	77%	79%	82%	88%	96%	96%	96%
	2024FY	620	585	565	565	570	595	620	630	630	615	625	605
	（ＡＬ等価比）	90%	79%	81%	82%	82%	93%	102%	102%	104%	102%	95%	94%
	2025FY	605	590										
	（ＡＬ等価比）	98%	101%										

【スポット市況】

＄／トン

		1StQrt	2NdQrt	3RdQrt	1月	2月	3月	4ThQrt	2024FY	4月	4/23	4/24	4/25	4/28	4/29	4/30	先週比
ＣＦＲ日本	P	620	645	632	631	618	607	619	629	523	515	519	539	532	N/A	511	－
	B	614	636	631	620	608	596	608	622	505	490	494	514	507	N/A	491	－
米国	P	390	382	409	469	480	454	468	412	444	450	453	469	496	507	496	(+46)
	B	407	441	510	534	487	424	482	460	399	404	416	416	428	425	416	(+12)

＝参考＝

極東ナフサ	$/ﾄﾝ	688	672	652	673	667	635	658	667	572	589	582	582	578	572	564	(▲25)
タンカー(中東-日本)	$/ﾄﾝ	73	52	56	56	46	53	52	58	49	52	51	50	50	49	49	(▲3)

3.ＬＰＧフレート動向

4月のフレート市況は、月平均で中東＄49/MT（前月対比▲＄2）、米国＄97/MT（前月対比▲＄3）となった。月間の値動きについては、中東＄30～＄59/MT、米国＄75～＄108/MTのレンジ。4月2日の米国「相互関税」発表により、中東・米国共にLPG需要減退懸念により船腹需要も減退しマーケット下落（中東＄30/MT台へ）。しかし喜望峰航路の航海が増加したこと等から船腹供給が引き締まり、中東＄50/MT前後まで値を戻している。

【参考】米国関税政策の影響について

今後のLPガス国際市場の見通し	・数ヶ月単位で見ると、中国は米国からの調達を止め、米国以外の産ガス国からの調達に切り替える動きが予想される。 ・中東産やカナダ産、豪州産のLPガスが中国に向かい、日本にとってはこれらを調達しにくい環境になることが想定される。 ・また、中国市場を失った米国産LPガスは中国に次ぐ巨大市場であるインド含む南アジアや東南アジアへの供給を増やす可能性がある。
今後のLPガス海運市場の見通し	・米国→中国、中東→南/東南アジアのフローが、米国→南/東南アジア、中東→中国のフローに置き換わることは海上輸送の輸送距離増加を意味するため、LPガス海運市況にとっては強材料となる可能性あり（LPガスの日本着価格には上昇の圧力）。 ・また、中国関連船舶の米国入港制限（高額な入港料等）が課された場合、中国関連船以外の船舶では米国産LPガスを輸送する能力の不足が想定され、運賃市況が混乱する可能性がある。 ・しかしながら、貿易戦争により経済が失速しLPガス輸入国の需要が鈍化するシナリオであれば、産ガス国のLPガス生産・輸出量が絞られる（＝海上輸送量が減少する）状況においては逆に運賃市況は下方圧力を受けることも想定され、極めて予測困難な状況である。

2025年度
第1回業務委員会
資料№10-2

原 料 価 格 推 移 表

年・月	プロパン価格(円)		CIF価格(速報・プロパン)				FOB価格(CP・ﾄﾞﾙ/ﾄﾝ)				FOB価格(MB・ﾄﾞﾙ/ﾄﾝ)		
	10㎥	10kg				為替レート							
	小売価格	卸売価格	対前月比	円/ﾄﾝ	対前月比	円/ﾄﾞﾙ	対前月比	プロパン	対前月比	ブタン	対前月比	プロパン	対CP
2022年1月			−3,075	88,555	+0.97	115.85	−55	740	−80	710	+69	606	−134
(R 4年)2月	8,436	1,612	+159	88,714	+0.37	116.22	+35	775	+65	775	+72	678	−97
3月			+10,069	98,783	+3.31	119.53	+120	895	+145	920	+64	742	−153
4月	8,558	1,756	+9,412	108,195	+7.45	126.98	+45	940	+40	960	−68	674	−266
5月			+5,646	113,841	+2.83	129.81	−90	850	−100	860	−35	639	−211
6月	8,789	1,758	−7,490	106,351	+5.12	134.93	−100	750	−110	750	−7	632	−118
7月			+1,641	107,992	+2.86	137.79	−25	725	−25	725	−35	597	−128
8月	8,814	1,712	−10,020	97,972	−1.55	136.24	−55	670	−65	660	−25	572	−98
9月			+2,267	100,239	+7.85	144.09	−20	650	−30	630	−54	518	−132
10月	8,819	1,762	−5,866	94,373	+4.10	148.19	−60	590	−70	560	−76	442	−148
11月			+167	94,540	−4.71	143.48	+20	610	+50	610	−166	440	−170
12月	8,850	1,700	−5,498	89,042	−7.39	136.09	+40	650	+40	650	−83	357	−293
2023年1月			−7,032	82,010	−4.74	131.35	−60	590	−45	605	+81	438	−152
(R 5年)2月	8,857	1,634	+7,160	89,170	+2.40	133.75	+200	790	+185	790	−7	431	−359
3月			+4,927	94,097	+1.17	134.92	−70	720	−50	740	−18	413	−307
4月	8,925	1,778	−9,276	84,821	−0.52	134.40	−165	555	−195	545	+8	421	−134
5月			−4,276	80,545	+4.03	138.43	0	555	+10	555	−87	334	−221
6月	8,934	1,500	−3,614	76,931	+3.84	142.27	−105	450	−110	445	−40	294	−156
7月			−7,280	69,651	+0.03	142.30	−50	400	−70	375	+29	323	−77
8月	8,899	1,486	+4,296	73,947	+3.54	145.84	+70	470	+85	460	+28	351	−119
9月			+11,651	85,598	+2.89	148.73	+80	550	+100	560	+33	384	−166
10月	8,932	1,616	+7,827	93,425	+1.87	150.60	+50	600	+55	615	−29	355	−245
11月			+1,747	95,172	+0.35	150.95	+10	610	+5	620	−21	334	−276
12月	9,010	1,644	−1,998	93,174	−5.82	145.13	0	610	0	620	+25	359	−251
2024年1月			−7,475	85,699	+2.52	147.65	+10	620	+10	630	+67	426	−194
(R 6年)2月	8,999	1,660	+7,055	92,754	+2.85	150.50	+10	630	+10	640	+46	472	−158
3月			−57	92,697	+0.17	150.67	0	630	0	640	−56	416	−214
4月	9,057	1,684	+1,838	94,535	+3.84	154.51	−15	615	−20	620	−2	414	−201
5月			+2,278	96,813	+2.74	157.25	−35	580	−35	585	−52	362	−218
6月	9,054	1,648	−2,751	94,062	+1.64	158.89	0	580	−20	565	+33	395	−185
7月			+4,256	98,318	+0.27	159.16	0	580	0	565	+21	416	−164
8月	9,119	1,674	−7,325	90,993	−11.72	147.44	+10	590	+5	570	−26	390	−200
9月			−2,686	88,307	−2.89	144.55	+15	605	+25	595	−50	340	−265
10月	9,105	1,584	+59	88,366	+6.14	150.69	+20	625	+25	620	+66	406	−219
11月			+6,793	95,159	+4.16	154.85	+10	635	+10	630	+13	419	−216
12月	9,145	1,681	−443	94,716	−0.08	154.77	0	635	0	630	−19	400	−235
1月			+875	95,591	+2.77	157.54	−10	625	−15	615	+69	469	−156
2月	9,197	1,747	+2,570	98,161	−4.52	153.02	+10	635	+10	625	+11	480	−155
3月			−2,203	95,958	−2.77	150.25	−20	615	−20	605	−26	454	−161
4月							0	615	+10	615			
5月													
6月													

(注) 1. 小売価格は、「経済産業省モニター調査」の全国平均値である。平成15年10月以降は、隔月発表の石油情報センターの資料による。
2. 卸売り価格は、(財)日本エネルギー経済研究所石油情報センターの資料による。(H3. 9以降隔月調査に変更)
3. 「CIF価格」は、財務省貿易統計の速報値である。

2025/4/25

一般社団法人　日本コミュニティーガス協会　業務部

〔CIF価格〕

財務省貿易統計

※基準平均原料価格は平成21年4月以降に認可申請又は届出された地点群に適用される値です。

	CIF速報			CIF確報			基準平均原料価格			上限バンド
	数量(MT)	価格(千円)	CIF価格	数量(MT)	価格(千円)	CIF価格	参照期間			(円/t)
2023年1月	960,205	78,746,588	82,010	960,205	80,081,447	83,400	2022年8月	～	2022年10月	97,440	155,900
2023年2月	778,243	69,395,546	89,170	778,243	69,636,631	89,479	2022年9月	～	2022年11月	96,380	154,210
2023年3月	1,107,128	104,177,489	94,097	1,107,128	103,429,358	93,421	2022年10月	～	2022年12月	92,810	148,500
2023年4月	746,302	63,301,784	84,821	746,302	63,332,984	84,862	2022年11月	～	2023年1月	88,150	141,040
2023年5月	627,136	50,512,760	80,545	627,136	50,090,283	79,871	2022年12月	～	2023年2月	86,930	139,090
2023年6月	603,380	46,418,888	76,931	603,380	46,469,635	77,016	2023年1月	～	2023年3月	89,220	142,750
2023年7月	693,698	48,316,880	69,651	693,698	48,910,343	70,507	2023年2月	～	2023年4月	89,820	143,710
2023年8月	671,791	49,676,754	73,947	671,791	49,737,216	74,037	2023年3月	～	2023年5月	87,590	140,140
2023年9月	484,732	41,492,027	85,598	484,732	41,945,490	86,533	2023年4月	～	2023年6月	80,860	129,380
2023年10月	478,781	44,730,307	93,425	478,781	44,556,293	93,062	2023年5月	～	2023年7月	75,290	120,460
2023年11月	760,761	72,403,283	95,172	760,761	71,582,830	94,094	2023年6月	～	2023年8月	73,680	117,890
2023年12月	897,964	83,667,137	93,174	897,964	83,667,137	93,174	2023年7月	～	2023年9月	75,740	121,180
2024年1月	1,018,868	87,315,751	85,699	1,018,868	86,906,148	85,297	2023年8月	～	2023年10月	83,420	133,470
2024年2月	746,103	69,204,342	92,754	746,103	69,241,056	92,804	2023年9月	～	2023年11月	92,160	147,460
2024年3月	744,727	69,033,733	92,697	744,727	68,994,993	92,645	2023年10月	～	2023年12月	93,480	149,570
2024年4月	802,610	75,874,552	94,535	802,610	75,814,469	94,460	2023年11月	～	2024年1月	90,590	144,940
2024年5月	700,345	67,802,427	96,813	700,345	68,101,551	97,240	2023年12月	～	2024年2月	90,040	144,060
2024年6月	549,194	51,658,486	94,062	549,194	51,897,467	94,498	2024年1月	～	2024年3月	89,720	143,550
2024年7月	631,799	62,117,127	98,318	631,799	61,998,925	98,131	2024年2月	～	2024年4月	93,360	149,380
2024年8月	491,715	44,713,167	90,933	491,715	44,696,763	90,900	2024年3月	～	2024年5月	94,590	151,340
2024年9月	512,200	45,230,746	88,307	512,200	45,331,337	88,503	2024年4月	～	2024年6月	95,300	152,480
2024年10月	639,515	56,511,492	88,366	639,515	56,268,727	87,987	2024年5月	～	2024年7月	96,800	154,880
2024年11月	698,778	66,494,854	95,159	698,778	66,224,089	94,771	2024年6月	～	2024年8月	94,820	151,710
2024年12月	929,316	88,021,242	94,716	929,316	88,021,242	94,716	2024年7月	～	2024年9月	92,880	148,610
2025年1月	945,583	90,388,933	95,591	945,583	90,720,282	95,941	2024年8月	～	2024年10月	89,170	142,670
2025年2月	706,829	69,382,851	98,161	706,829	69,259,931	97,987	2024年9月	～	2024年11月	90,840	145,340
2025年3月	1,061,119	101,822,718	95,958				2024年10月	～	2024年12月	92,840	148,540
2025年4月							2024年11月	～	2025年1月	95,050	152,080
2025年5月							2024年12月	～	2025年2月	96,110	153,780
2025年6月							2025年1月	～	2025年3月	96,480	154,370
2025年7月							2025年2月	～	2025年4月		

2025年度
第1回業務委員会
資料№11

令和７年度ガス主任技術者試験の、マイページ開設、受験願書掲載等は、令和７年５月１日(木)から開始します。

受験願書の PDF データ掲載、マイページ開設まで、しばらくお待ちください。
（受験願書は5/1日からダウンロードできるようになります。**ダウンロードは無料**です。）

下記に令和7年度実施概要をお知らせします。

1. ガス主任技術者試験の種類
甲種ガス主任技術者免状、乙種ガス主任技術者免状及び丙種ガス主任技術者免状に係るガス主任技術者試験

2. 試験日、試験時間及び試験科目

(1)試 験 日	**令和7年9月28日（日）**
(2)試験時間	甲種、乙種及び丙種とも10時から14時まで
(3)試験科目	・ガス事業関係法令（保安に関するものに限る。）
	・ガスに関する物理及び化学理論
	・ガス工作物の工事、維持及び運用に関する技術
	・ガス工作物の構造及び機能
	・ガスの成分分析及び熱量等の測定
	・ガス器具の構造及び機能

3. 試験地
北海道、宮城県、東京都、愛知県、富山県、大阪府、広島県、香川県、福岡県、沖縄県
（試験会場の詳細は、8月中頃に発送予定の「受験票」に掲載）

4. 受験願書の申請方法
・インターネットによる申請（以下電子申請という）（推奨）
・書面による申請（以下書面申請という）

① 受験願書の配付 （5月1日より配付を開始します）
受験願書（PDF データ、紙）は無料です。入手方法は次の2通りです。
・ （PDF データ） ご自身で、当協会ホームページからダウンロード
・ （紙面） 下記②受験願書の提出先へ連絡してぐたさい。宅急便でお送りします。
なお、送料はお客さまのご負担となります。

② 受験願書の提出先
一般財団法人 日本ガス機器検査協会 試験・教育講習部 ガス主任試験業務グループ
〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 4-1-10 ／ 電話 03－3960－0159

5. 受験手数料 12,700 円（非課税）

6. 受験願書の受付期間 **令和7年5月1日（木）～5月30日（金）**まで
受付は、次の状態のものに限ります。
・提出期限内に電子申請が完了し、かつ支払が完了しているもの
・郵送にあっては、提出期限内の郵便局の消印があるもの
（料金別納郵便及び料金後納郵便にあっては提出期限内に到着したもの）、かつ支払いが完了しているもの
・当協会の提出先（4. ②の提出先）へ持参し、かつ支払いが完了しているもの
（持参の受付時間は、平日9時から17時まで）
なお、いかなる理由があっても、受付期間を過ぎて提出されたものは受付けしません。

以上

2025年度
第1回業務委員会
資料（参考）№12-1

2025年1月分コミュニティーガス事業　生産動態統計の概況

2025/3/31

出典：ガス市場整備課　簡易ガス事業生産動態統計の概況

	地点群数				許可地点数（件）				メーター取付数（個）				調定数（件）				（内家庭用調定数）（件）			
	当月末	前年同月末	増減	前年比（%）	当月末	前年同月末	増減	前年比（%）	当月末	前年同月末	増減	前年比（%）	当月末	前年同月末	増減	前年比（%）	当月末	前年同月末	増減	前年比（%）
北海道	344	343	1	0.3%	141,278	141,309	▲ 31	▲0.0%	97,663	98,148	▲ 485	▲0.5%	79,803	80,809	▲ 1,006	▲1.2%	78,536	79,508	▲ 972	▲1.2%
東北	592	593	▲ 1	▲0.2%	151,860	151,890	▲ 30	▲0.0%	113,540	113,432	108	0.1%	90,232	91,052	▲ 820	▲0.9%	89,040	89,798	▲ 758	▲0.8%
関東	2,015	2,024	▲ 9	▲0.4%	518,150	518,888	▲ 738	▲0.1%	372,939	373,437	▲ 498	▲0.1%	314,888	317,312	▲ 2,424	▲0.8%	311,777	314,171	▲ 2,394	▲0.8%
中部	656	653	3	0.5%	176,480	176,381	99	0.1%	127,497	127,859	▲ 362	▲0.3%	107,776	108,288	▲ 512	▲0.5%	107,026	107,519	▲ 493	▲0.5%
北陸	270	270	0	0.0%	58,126	58,155	▲ 29	▲0.0%	37,122	37,402	▲ 280	▲0.7%	28,391	28,189	202	0.7%	28,150	27,943	207	0.7%
近畿	968	979	▲ 11	▲1.1%	205,844	207,926	▲ 2,082	▲1.0%	153,651	151,773	1,878	1.2%	117,171	116,696	475	0.4%	116,428	115,929	499	0.4%
中国	588	591	▲ 3	▲0.5%	134,598	135,195	▲ 597	▲0.4%	91,826	92,431	▲ 605	▲0.7%	73,049	73,972	▲ 923	▲1.2%	72,623	73,539	▲ 916	▲1.2%
四国	357	352	5	1.4%	72,836	72,266	570	0.8%	56,998	56,722	276	0.5%	42,048	42,252	▲ 204	▲0.5%	41,959	42,160	▲ 201	▲0.5%
九州	1,183	1,175	8	0.7%	303,437	302,161	1,276	0.4%	228,136	226,963	1,173	0.5%	187,916	188,543	▲ 627	▲0.3%	186,879	187,489	▲ 610	▲0.3%
沖縄	217	214	3	1.4%	36,128	35,826	302	0.8%	35,438	35,353	85	0.2%	31,596	31,165	431	1.4%	31,572	31,141	431	1.4%
全国	7,190	7,194	▲ 4	▲0.1%	1,798,737	1,799,997	▲ 1,260	▲0.1%	1,314,810	1,313,520	1,290	0.1%	1,072,870	1,078,278	▲ 5,408	▲0.5%	1,063,990	1,069,197	▲ 5,207	▲0.5%

※新規地点群　地点群…　　地点

（100.4652MJ=24,000kcal換算）

	販売量（㎥）												家庭用単位消費量（㎥/戸）			
	当月			前年同月			前年同月比									
	家庭用	商業用他	合計	家庭用	商業用他	合計	家庭用	%	商業用他	%	合計	%	当月	前年同月	増減	前年比（%）
北海道	1,096,777	228,257	1,325,034	1,232,866	211,212	1,444,078	▲ 136,089	▲11.0%	17,045	8.1%	▲ 119,044	▲8.2%	14.0	15.5	▲ 1.5	▲9.7%
東北	1,079,471	208,491	1,287,962	1,072,654	197,502	1,270,156	6,817	0.6%	10,989	5.6%	17,806	1.4%	12.1	11.9	0.2	1.7%
関東	4,770,314	501,876	5,272,190	4,696,346	443,659	5,140,005	73,968	1.6%	58,217	13.1%	132,185	2.6%	15.3	14.9	0.4	2.7%
中部	1,783,173	75,394	1,858,567	1,747,444	77,291	1,824,735	35,729	2.0%	▲ 1,897	▲2.5%	33,832	1.9%	16.7	16.3	0.4	2.5%
北陸	306,440	31,745	338,185	292,246	30,666	322,912	14,194	4.9%	1,079	3.5%	15,273	4.7%	10.9	10.5	0.4	3.8%
近畿	1,607,706	63,217	1,670,923	1,603,259	70,840	1,674,099	4,447	0.3%	▲ 7,623	▲10.8%	▲ 3,176	▲0.2%	13.8	13.8	0.0	0.0%
中国	1,054,940	48,766	1,103,706	1,041,505	47,517	1,089,022	13,435	1.3%	1,249	2.6%	14,684	1.3%	14.5	14.2	0.3	2.1%
四国	494,998	6,666	501,664	496,271	6,180	502,451	▲ 1,273	▲0.3%	486	7.9%	▲ 787	▲0.2%	11.8	11.8	0.0	0.0%
九州	2,361,252	84,937	2,446,189	2,344,666	81,906	2,426,572	16,586	0.7%	3,031	3.7%	19,617	0.8%	12.6	12.5	0.1	0.8%
沖縄	245,076	1,256	246,332	237,375	1,218	238,593	7,701	3.2%	38	3.1%	7,739	3.2%	7.8	7.6	0.2	2.6%
全国	14,800,147	1,250,605	16,050,752	14,764,632	1,167,991	15,932,623	35,515	0.2%	82,614	7.1%	118,129	0.7%	13.9	13.8	0.1	0.7%

当月平均気温		
出典：気象庁		前年比
札幌	−1.2	0.6℃
仙台	4.2	0.0℃
東京	7.1	0.0℃
名古屋	6.0	0.0℃
富山	4.2	0.0℃
大阪	7.1	0.0℃
広島	6.5	0.0℃
高松	6.9	0.0℃
福岡	8.3	0.0℃
那覇	17.9	0.0℃
全国	6.7℃	0.1

参考　2025年1月の一般ガス事業のお客様件数・ガス販売量実績

出典：経産省iP

		当月	前年同月	増減	前年比（%）
お客さま件数（千戸）	家庭用	27,152	26,901	251	0.9%
	商業用他	1,196	1,199	▲ 2	▲0.2%
	計	28,348	28,100	248	0.9%

		当月	前年同月	増減	前年比（%）
ガス販売量（千㎥）	家庭用	1,399,851	1,308,937	90,913	6.9%
	商業用他	2,848,599	2,726,191	122,409	4.5%
	計	4,248,450	4,035,128	213,322	5.3%

（41.8605MJ=1万kcal換算）

2025年1月分コミュニティーガス事業　生産動態統計の概況

2024年度累計（4月-1月） コミュニティーガス事業生産動態統計の概況

出典：ガス市場整備課　簡易ガス事業生産動態統計の概況

	地点群数				許可地点数（件）				メーター取付数（個）				調定数（件）				（内家庭用調定数）（件）			
	2025年度累計（4月-1月）	前年同期	増減	前年比（%）	2025年度累計（4月-1月）	前年同期	増減	前年比（%）	2025年度累計（4月-1月）	前年同期	増減	前年比（%）	2025年度累計（4月-1月）	前年同期	増減	前年比（%）	2025年度累計（4月-1月）	前年同期	増減	前年比（%）
北海道	3,433	3,427	6	0.2%	1,412,559	1,411,911	648	0.0%	977,749	981,518	▲ 3,769	▲0.4%	801,590	810,328	▲ 8,738	▲1.1%	789,004	797,458	▲ 8,454	▲ 1.1%
東　北	5,937	5,950	▲ 13	▲0.2%	1,520,581	1,523,186	▲ 2,605	▲0.2%	1,136,405	1,136,618	▲ 213	▲0.0%	907,519	916,041	▲ 8,522	▲0.9%	895,520	903,461	▲ 7,941	▲ 0.9%
関　東	20,232	20,294	▲ 62	▲0.3%	5,191,675	5,194,092	▲ 2,417	▲0.0%	3,735,903	3,742,481	▲ 6,578	▲0.2%	3,158,561	3,184,032	▲ 25,471	▲0.8%	3,127,502	3,152,633	▲ 25,131	▲ 0.8%
中　部	6,565	6,541	24	0.4%	1,767,107	1,756,574	10,533	0.6%	1,279,802	1,275,707	4,095	0.3%	1,079,395	1,080,282	▲ 887	▲0.1%	1,071,850	1,073,728	▲ 1,878	▲ 0.2%
北　陸	2,700	2,710	▲ 10	▲0.4%	581,334	582,334	▲ 1,000	▲0.2%	372,164	375,717	▲ 3,553	▲0.9%	284,191	282,808	1,383	0.5%	281,767	280,369	1,398	0.5%
近　畿	9,739	9,843	▲ 104	▲1.1%	2,085,966	2,091,308	▲ 5,342	▲0.3%	1,541,240	1,523,312	17,928	1.2%	1,179,371	1,174,961	4,410	0.4%	1,171,929	1,167,413	4,516	0.4%
中　国	5,905	5,904	1	0.0%	1,349,649	1,351,774	▲ 2,125	▲0.2%	921,851	926,736	▲ 4,885	▲0.5%	733,269	741,027	▲ 7,758	▲1.0%	728,999	736,690	▲ 7,691	▲ 1.0%
四　国	3,557	3,515	42	1.2%	726,791	722,084	4,707	0.7%	569,600	567,319	2,281	0.4%	420,259	424,060	▲ 3,801	▲0.9%	419,356	423,147	▲ 3,791	▲ 0.9%
九　州	11,843	11,754	89	0.8%	3,036,271	3,023,120	13,151	0.4%	2,282,167	2,274,922	7,245	0.3%	1,881,786	1,889,894	▲ 8,108	▲0.4%	1,871,430	1,879,427	▲ 7,997	▲ 0.4%
沖　縄	2,166	2,115	51	2.4%	360,228	354,698	5,530	1.6%	354,900	349,675	5,225	1.5%	314,272	308,944	5,328	1.7%	314,032	308,696	5,336	1.7%
全　国	72,077	72,053	24	0.0%	18,032,161	18,011,081	21,080	0.1%	13,171,781	13,154,005	17,776	0.1%	10,760,213	10,812,377	▲ 52,164	▲0.5%	10,671,389	10,723,022	▲ 51,633	▲ 0.5%

※新規地点群　累計　　地点群…地点

（100.4652MJ=24,000kcal換算）

（100.4652MJ=24,000kcal換算）

	販売量（㎥）												家庭用単位消費量（㎥/戸）			
	2025年度累計(4月-1月)			前年同期			前年比									
	家庭用	商業用他	合計	家庭用	商業用他	合計	家庭用	%	商業用他	%	合計	%	2025年度累計（4月-1月）	前年同期	増減	前年比（%）
北海道	5,303,829	1,038,961	6,342,790	5,381,492	1,033,537	6,415,029	▲ 77,663	▲1.4%	5,424	0.5%	▲ 72,239	▲1.1%	6.7	6.7	0.0	0.0%
東　北	6,978,387	1,324,810	8,303,197	7,116,783	1,265,639	8,382,422	▲ 138,396	▲1.9%	59,171	4.7%	▲ 79,225	▲0.9%	7.8	7.9	▲ 0.1	▲1.3%
関　東	27,341,557	2,854,786	30,196,343	27,659,200	2,667,506	30,326,706	▲ 317,643	▲1.1%	187,280	7.0%	▲ 130,363	▲0.4%	8.7	8.8	▲ 0.1	▲1.1%
中　部	9,523,812	541,309	10,065,121	9,816,245	560,825	10,377,070	▲ 292,433	▲3.0%	▲ 19,516	▲3.5%	▲ 311,949	▲3.0%	8.9	9.1	▲ 0.2	▲2.2%
北　陸	1,834,856	268,356	2,103,212	1,845,722	262,922	2,108,644	▲ 10,866	▲0.6%	5,434	2.1%	▲ 5,432	▲0.3%	6.5	6.6	▲ 0.1	▲1.5%
近　畿	9,250,376	490,569	9,740,945	9,510,606	554,092	10,064,698	▲ 260,230	▲2.7%	▲ 63,523	▲11.5%	▲ 323,753	▲3.2%	7.9	8.1	▲ 0.2	▲2.5%
中　国	5,684,044	286,582	5,970,626	5,911,511	288,733	6,200,244	▲ 227,467	▲3.8%	▲ 2,151	▲0.7%	▲ 229,618	▲3.7%	7.8	8.0	▲ 0.2	▲2.5%
四　国	2,915,957	56,544	2,972,501	3,078,695	53,715	3,132,410	▲ 162,738	▲5.3%	2,829	5.3%	▲ 159,909	▲5.1%	7.0	7.3	▲ 0.3	▲4.1%
九　州	13,116,210	761,032	13,877,242	13,885,242	746,002	14,631,244	▲ 769,032	▲5.5%	15,030	2.0%	▲ 754,002	▲5.2%	7.0	7.4	▲ 0.4	▲5.4%
沖　縄	1,575,361	14,417	1,589,778	1,639,577	25,105	1,664,682	▲ 64,216	▲3.9%	▲ 10,688	▲42.6%	▲ 74,904	▲4.5%	5.0	5.3	▲ 0.3	▲5.7%
全　国	83,524,389	7,637,366	91,161,755	85,845,073	7,458,076	93,303,149	▲ 2,320,684	▲2.7%	179,290	2.4%	▲ 2,141,394	▲2.3%	7.8	8.0	▲ 0.2	▲2.5%

2025年度累計(4月-1月) 平均気温		
	出典：気象庁	前年比
札幌	12.8℃	▲0.4℃
仙台	16.8℃	▲0.2℃
東京	19.4℃	0.1℃
名古屋	19.8℃	0.6℃
富山	17.9℃	▲0.1℃
大阪	20.2℃	0.6℃
広島	19.8℃	0.6℃
高松	19.9℃	0.6℃
福岡	20.5℃	0.5℃
那覇	25.2℃	0.5℃
全国	19.2℃	0.3

参考　2024年度(4月-1月)累計　一般ガス事業のガス販売量実績

出典：経産省iP

		当年4月－1月	前年同期	増　減	前年比（%）
お客さま件数（千戸）	家庭用	270,881	268,434	2,446	0.9%
	商業用他	11,916	11,950	▲ 34	▲0.3%
	計	282,797	280,384	2,413	0.9%

		当年4月－1月	前年同期	増減	前年比（%）
ガス販売量（千㎥）	家庭用	6,662,681	6,552,009	110,672	1.7%
	商業用他	23,976,132	23,962,250	13,882	0.1%
	計	30,638,813	30,514,259	124,554	0.4%

（41.8605MJ=1万kcal換算）

2025年2月分コミュニティーガス事業　生産動態統計の概況

2025/4/28

出典:ガス市場整備課　簡易ガス事業生産動態統計の概況

	地点群数				許可地点数（件）				メーター取付数（個）				調定数（件）				（内家庭用調定数）（件）			
	当月末	前年同月末	増減	前年比(%)	当月末	前年同月末	増減	前年比(%)	当月末	前年同月末	増減	前年比(%)	当月末	前年同月末	増減	前年比(%)	当月末	前年同月末	増減	前年比(%)
北海道	345	343	2	0.6%	141,367	141,272	95	0.1%	97,757	98,107	▲ 350	▲0.4%	79,704	80,726	▲ 1,022	▲1.3%	78,442	79,432	▲ 990	▲1.2%
東北	592	593	▲ 1	▲0.2%	151,422	151,891	▲ 469	▲0.3%	113,539	113,439	100	0.1%	90,048	91,075	▲ 1,027	▲1.1%	88,857	89,827	▲ 970	▲1.1%
関東	2,014	2,025	▲ 11	▲0.5%	518,068	519,038	▲ 970	▲0.2%	372,334	373,265	▲ 931	▲0.2%	314,575	317,187	▲ 2,612	▲0.8%	311,454	314,052	▲ 2,598	▲0.8%
中部	656	653	3	0.5%	176,480	176,367	113	0.1%	127,493	127,814	▲ 321	▲0.3%	107,645	108,076	▲ 431	▲0.4%	106,896	107,306	▲ 410	▲0.4%
北陸	270	270	0	0.0%	57,982	58,155	▲ 173	▲0.3%	36,930	37,434	▲ 504	▲1.3%	28,030	28,385	▲ 355	▲1.3%	27,802	28,141	▲ 339	▲1.2%
近畿	967	983	▲ 16	▲1.6%	205,652	208,236	▲ 2,584	▲1.2%	153,509	151,968	1,541	1.0%	116,918	116,720	198	0.2%	116,168	115,954	214	0.2%
中国	587	592	▲ 5	▲0.8%	134,506	135,293	▲ 787	▲0.6%	91,756	92,471	▲ 715	▲0.8%	72,936	73,887	▲ 951	▲1.3%	72,510	73,456	▲ 946	▲1.3%
四国	357	352	5	1.4%	72,836	72,266	570	0.8%	56,998	56,717	281	0.5%	41,909	42,109	▲ 200	▲0.5%	41,820	42,017	▲ 197	▲0.5%
九州	1,187	1,172	15	1.3%	303,762	301,654	2,108	0.7%	228,196	226,630	1,566	0.7%	187,569	188,201	▲ 632	▲0.3%	186,528	187,148	▲ 620	▲0.3%
沖縄	218	214	4	1.9%	36,248	35,746	502	1.4%	35,559	35,273	286	0.8%	31,679	31,297	382	1.2%	31,655	31,273	382	1.2%
全国	7,193	7,197	▲ 4	▲0.1%	1,798,323	1,799,918	▲ 1,595	▲0.1%	1,314,071	1,313,118	953	0.1%	1,071,013	1,077,663	▲ 6,650	▲0.6%	1,062,132	1,068,606	▲ 6,474	▲0.6%

※新規地点群　地点群…　　地点

（100.4652MJ=24,000kcal換算）

	販売量（㎥）												家庭用単位消費量（㎥/戸）			
	当月			前年同月			前年同月比									
	家庭用	商業用他	合計	家庭用	商業用他	合計	家庭用	%	商業用他	%	合計	%	当月	前年同月	増減	前年比(%)
北海道	977,081	212,376	1,189,457	998,505	211,767	1,210,272	▲ 21,424	▲2.1%	609	0.3%	▲ 20,815	▲1.7%	12.5	12.6	▲ 0.1	▲0.8%
東北	1,086,255	215,241	1,301,496	1,085,869	203,913	1,289,782	386	0.0%	11,328	5.6%	11,714	0.9%	12.2	12.1	0.1	0.8%
関東	4,802,274	510,494	5,312,768	4,841,884	477,817	5,319,701	▲ 39,610	▲0.8%	32,677	6.8%	▲ 6,933	▲0.1%	15.4	15.4	0.0	0.0%
中部	1,678,000	80,261	1,758,261	1,687,910	77,870	1,765,780	▲ 9,910	▲0.6%	2,391	3.1%	▲ 7,519	▲0.4%	15.7	15.7	0.0	0.0%
北陸	311,398	40,026	351,424	314,100	38,094	352,194	▲ 2,702	▲0.9%	1,932	5.1%	▲ 770	▲0.2%	11.2	11.2	0.0	0.0%
近畿	1,660,604	66,168	1,726,772	1,607,210	64,872	1,672,082	53,394	3.3%	1,296	2.0%	54,690	3.3%	14.3	13.9	0.4	2.9%
中国	1,039,075	49,810	1,088,885	1,025,397	45,973	1,071,370	13,678	1.3%	3,837	8.3%	17,515	1.6%	14.3	14.0	0.3	2.1%
四国	512,970	6,906	519,876	497,745	6,405	504,150	15,225	3.1%	501	7.8%	15,726	3.1%	12.3	11.8	0.5	4.2%
九州	2,368,549	95,091	2,463,640	2,309,031	87,949	2,396,980	59,518	2.6%	7,142	8.1%	66,660	2.8%	12.7	12.3	0.4	3.3%
沖縄	267,457	901	268,358	245,237	1,307	246,544	22,220	9.1%	▲ 406	▲31.1%	21,814	8.8%	8.4	7.8	0.6	7.7%
全国	14,703,663	1,277,274	15,980,937	14,612,888	1,215,967	15,828,855	90,775	0.6%	61,307	5.0%	152,082	1.0%	13.8	13.7	0.1	0.7%

当月平均気温		
出典:気象庁		前年比
札幌	−0.9	1.0℃
仙台	4.7	0.0℃
東京	8.0	0.0℃
名古屋	8.1	0.0℃
富山	5.6	0.0℃
大阪	8.4	0.0℃
広島	8.4	0.0℃
高松	7.6	0.0℃
福岡	9.9	0.0℃
那覇	19.8	0.0℃
全国	8.0℃	0.1℃

参考　2025年2月の一般ガス事業のお客様件数・ガス販売量実績

		当月	前年同月	増減	前年比(%)
お客さま件数（千戸）	家庭用	27,134	26,914	220	0.8%
	商業用他	1,197	1,200	▲ 3	▲0.2%
	計	28,331	28,114	218	0.8%

出典:経産省iP

		当月	前年同月	増減	前年比(%)
ガス販売量（千㎥）	家庭用	1,198,227	1,169,978	28,249	2.4%
	商業用他	2,702,199	2,634,771	67,427	2.6%
	計	3,900,426	3,804,749	95,677	2.5%

（41.8605MJ=1万kcal換算）

2025年2月分コミュニティーガス事業　生産動態統計の概況

2024年度累計（4月-2月） コミュニティーガス事業生産動態統計の概況

出典：ガス市場整備課　簡易ガス事業生産動態統計の概況

	地点群数				許可地点数（件）				メーター取付数（個）				調定数（件）				（内家庭用調定数）（件）			
	2025年度累計（4月-2月）	前年同期	増減	前年比（%）	2025年度累計（4月-2月）	前年同期	増減	前年比（%）	2025年度累計（4月-2月）	前年同期	増減	前年比（%）	2025年度累計（4月-2月）	前年同期	増減	前年比（%）	2025年度累計（4月-2月）	前年同期	増減	前年比（%）
北海道	3,778	3,770	8	0.2%	1,553,926	1,553,183	743	0.0%	1,075,506	1,079,625	▲ 4,119	▲0.4%	881,294	891,054	▲ 9,760	▲1.1%	867,446	876,890	▲ 9,444	▲ 1.1%
東　北	6,529	6,543	▲ 14	▲0.2%	1,672,003	1,675,077	▲ 3,074	▲0.2%	1,249,944	1,250,057	▲ 113	▲0.0%	997,567	1,007,116	▲ 9,549	▲0.9%	984,377	993,288	▲ 8,911	▲ 0.9%
関　東	22,246	22,319	▲ 73	▲0.3%	5,709,743	5,713,130	▲ 3,387	▲0.1%	4,108,237	4,115,748	▲ 7,511	▲0.2%	3,473,136	3,501,243	▲ 28,107	▲0.8%	3,438,956	3,466,707	▲ 27,751	▲ 0.8%
中　部	7,221	7,194	27	0.4%	1,943,587	1,932,941	10,646	0.6%	1,407,295	1,403,521	3,774	0.3%	1,187,040	1,188,358	▲ 1,318	▲0.1%	1,178,746	1,181,034	▲ 2,288	▲ 0.2%
北　陸	2,970	2,980	▲ 10	▲0.3%	639,316	640,489	▲ 1,173	▲0.2%	409,094	413,151	▲ 4,057	▲1.0%	312,221	311,193	1,028	0.3%	309,569	308,510	1,059	0.3%
近　畿	10,706	10,826	▲ 120	▲1.1%	2,291,618	2,299,544	▲ 7,926	▲0.3%	1,694,749	1,675,280	19,469	1.2%	1,296,289	1,291,681	4,608	0.4%	1,288,097	1,283,367	4,730	0.4%
中　国	6,492	6,496	▲ 4	▲0.1%	1,484,155	1,487,067	▲ 2,912	▲0.2%	1,013,607	1,019,207	▲ 5,600	▲0.5%	806,205	814,914	▲ 8,709	▲1.1%	801,509	810,146	▲ 8,637	▲ 1.1%
四　国	3,914	3,867	47	1.2%	799,627	794,350	5,277	0.7%	626,598	624,036	2,562	0.4%	462,168	466,169	▲ 4,001	▲0.9%	461,176	465,164	▲ 3,988	▲ 0.9%
九　州	13,030	12,926	104	0.8%	3,340,033	3,324,889	15,144	0.5%	2,510,363	2,501,667	8,696	0.3%	2,069,355	2,078,182	▲ 8,827	▲0.4%	2,057,958	2,066,662	▲ 8,704	▲ 0.4%
沖　縄	2,384	2,329	55	2.4%	396,476	390,444	6,032	1.5%	390,459	384,948	5,511	1.4%	345,951	340,241	5,710	1.7%	345,687	339,969	5,718	1.7%
全　国	79,270	79,250	20	0.0%	19,830,484	19,811,114	19,370	0.1%	14,485,852	14,467,240	18,612	0.1%	11,831,226	11,890,151	▲ 58,925	▲0.5%	11,733,521	11,791,737	▲ 58,216	▲ 0.5%

※新規地点群　累計　　地点群…地点

（100.4652MJ=24,000kcal換算）

（100.4652MJ=24,000kcal換算）

	販売量（㎥）												家庭用単位消費量（㎥/戸）			
	2025年度累計(4月-2月)			前年同期			前年比									
	家庭用	商業用他	合計	家庭用	商業用他	合計	家庭用	%	商業用他	%	合計	%	2025年度累計（4月-2月）	前年同期	増減	前年比（%）
北海道	6,280,910	1,251,337	7,532,247	6,379,997	1,245,304	7,625,301	▲ 99,087	▲1.6%	6,033	0.5%	▲ 93,054	▲1.2%	7.2	7.3	▲ 0.1	▲1.4%
東　北	8,064,642	1,540,051	9,604,693	8,202,652	1,469,552	9,672,204	▲ 138,010	▲1.7%	70,499	4.8%	▲ 67,511	▲0.7%	8.2	8.3	▲ 0.1	▲1.2%
関　東	32,143,831	3,365,280	35,509,111	32,501,109	3,145,414	35,646,523	▲ 357,278	▲1.1%	219,866	7.0%	▲ 137,412	▲0.4%	9.3	9.4	▲ 0.1	▲1.1%
中　部	11,201,812	621,570	11,823,382	11,504,155	638,695	12,142,850	▲ 302,343	▲2.6%	▲ 17,125	▲2.7%	▲ 319,468	▲2.6%	9.5	9.7	▲ 0.2	▲2.1%
北　陸	2,146,254	308,382	2,454,636	2,159,822	301,016	2,460,838	▲ 13,568	▲0.6%	7,366	2.4%	▲ 6,202	▲0.3%	6.9	7.0	▲ 0.1	▲1.4%
近　畿	10,910,980	556,737	11,467,717	11,117,816	618,964	11,736,780	▲ 206,836	▲1.9%	▲ 62,227	▲10.1%	▲ 269,063	▲2.3%	8.5	8.7	▲ 0.2	▲2.3%
中　国	6,723,119	336,392	7,059,511	6,936,908	334,706	7,271,614	▲ 213,789	▲3.1%	1,686	0.5%	▲ 212,103	▲2.9%	8.4	8.6	▲ 0.2	▲2.3%
四　国	3,428,927	63,450	3,492,377	3,576,440	60,120	3,636,560	▲ 147,513	▲4.1%	3,330	5.5%	▲ 144,183	▲4.0%	7.4	7.7	▲ 0.3	▲3.9%
九　州	15,484,759	856,123	16,340,882	16,194,730	833,951	17,028,681	▲ 709,971	▲4.4%	22,172	2.7%	▲ 687,799	▲4.0%	7.5	7.8	▲ 0.3	▲3.8%
沖　縄	1,842,818	15,318	1,858,136	1,884,814	26,412	1,911,226	▲ 41,996	▲2.2%	▲ 11,094	▲42.0%	▲ 53,090	▲2.8%	5.3	5.5	▲ 0.2	▲3.6%
全　国	98,228,052	8,914,640	107,142,692	100,458,443	8,674,134	109,132,577	▲ 2,230,391	▲2.2%	240,506	2.8%	▲ 1,989,885	▲1.8%	8.4	8.5	▲ 0.1	▲1.2%

2025年度累計(4月-2月) 平均気温		
	出典：気象庁	前年比
札幌	11.6℃	▲0.2℃
仙台	15.5℃	▲0.4℃
東京	18.2℃	▲0.1℃
名古屋	18.4℃	0.2℃
富山	16.4℃	▲0.4℃
大阪	18.9℃	0.2℃
広島	18.3℃	0.2℃
高松	18.6℃	0.3℃
福岡	19.1℃	0.0℃
那覇	24.4℃	0.1℃
全国	17.9℃	▲ 0.0

参考　2024年度(4月-1月)累計　一般ガス事業のガス販売量実績

出典：経産省iP

		当年4月－1月	前年同期	増　減	前年比（%）
お客さま件数（千戸）	家庭用	298,015	295,348	2,667	0.9%
	商業用他	13,113	13,150	▲ 36	▲0.3%
	計	311,128	308,498	2,630	0.9%

		当年4月－1月	前年同期	増減	前年比（%）
ガス販売量（千㎥）	家庭用	7,860,908	7,721,987	138,921	1.8%
	商業用他	26,678,331	26,597,021	81,309	0.3%
	計	34,539,238	34,319,008	220,230	0.6%

（41.8605MJ=1万kcal換算）

2025年累計（1月-2月） コミュニティーガス事業生産動態統計の概況

出典:ガス市場整備課 簡易ガス事業生産動態統計の概況

	地点群数				許可地点数（件）				メーター取付数（個）				調定数（件）				（内家庭用調定数）（件）			
	2025年累計(1月-2	前年同期	増減	前年比（%）	2025年累計(1月-2	前年同期	増減	2025年累計（1月-2月）	2025年累計（1月-2月）	前年同期	増減	2025年累計(1月-2	2025年累計（1月-2月）	前年同期	増減	2025年累計（1月-2月）	2025年累計（1月-2月）	前年同期	増減	2025年累計（1月-2月）
北海道	689	686	3	0.4%	282,645	282,581	64	0.0%	195,420	196,255	▲ 835	▲0.4%	159,507	161,535	▲ 2,028	▲1.3%	156,978	958,659	▲ 801,681	▲ 83.6%
東北	1,184	1,186	▲ 2	▲0.2%	303,282	303,781	▲ 499	▲0.2%	227,079	226,871	208	0.1%	180,280	182,127	▲ 1,847	▲1.0%	177,897	1,086,238	▲ 908,341	▲ 83.6%
関東	4,029	4,049	▲ 20	▲0.5%	1,036,218	1,037,926	▲ 1,708	▲0.2%	745,273	746,704	▲ 1,431	▲0.2%	629,463	634,523	▲ 5,060	▲0.8%	623,231	3,789,906	▲ 3,166,675	▲ 83.6%
中部	1,312	1,306	6	0.5%	352,960	352,748	212	0.1%	254,990	255,673	▲ 683	▲0.3%	215,421	216,364	▲ 943	▲0.4%	213,922	1,288,534	▲ 1,074,612	▲ 83.4%
北陸	540	540	0	0.0%	116,108	116,310	▲ 202	▲0.2%	74,052	74,836	▲ 784	▲1.0%	56,421	56,574	▲ 153	▲0.3%	55,952	337,036	▲ 281,084	▲ 83.4%
近畿	1,935	1,962	▲ 27	▲1.4%	411,496	416,162	▲ 4,666	▲1.1%	307,160	303,741	3,419	1.1%	234,089	233,416	673	0.3%	232,596	1,405,313	▲ 1,172,717	▲ 83.4%
中国	1,175	1,183	▲ 8	▲0.7%	269,104	270,488	▲ 1,384	▲0.5%	183,582	184,902	▲ 1,320	▲0.7%	145,985	147,859	▲ 1,874	▲1.3%	145,133	885,538	▲ 740,405	▲ 83.6%
四国	714	704	10	1.4%	145,672	144,532	1,140	0.8%	113,996	113,439	557	0.5%	83,957	84,361	▲ 404	▲0.5%	83,779	508,642	▲ 424,863	▲ 83.5%
九州	2,370	2,347	23	1.0%	607,199	603,930	3,269	0.5%	456,332	453,708	2,624	0.6%	375,485	376,831	▲ 1,346	▲0.4%	373,407	2,259,045	▲ 1,885,638	▲ 83.5%
沖縄	435	428	7	1.6%	72,376	71,572	804	1.1%	70,997	70,626	371	0.5%	63,275	62,462	813	1.3%	63,227	368,776	▲ 305,549	▲ 82.9%
全国	14,383	14,391	▲ 8	▲0.1%	3,597,060	3,600,030	▲ 2,970	▲0.1%	2,628,881	2,626,755	2,126	0.1%	2,143,883	2,156,052	▲ 12,169	▲0.6%	2,126,122	12,887,687	▲ 10,761,565	▲ 83.5%

※新規地点群 累計 地点群…地点

（100.4652MJ=24,000kcal換算）

	販売量（㎥）												家庭用単位消費量（㎥/戸）				2025年累計（1月-2月）平均気温		
	2025年累計（1月-2月）			前年同月累計			前年比										出典:気象庁		
	家庭用	商業用他	合計	家庭用	商業用他	合計	家庭用	%	商業用他	%	合計	%	2025年累計（1月-2月）	前年同月累計	増減	前年比（%）			前年比
北海道	2,073,858	440,633	2,514,491	2,231,371	422,979	2,654,350	▲ 157,513	▲7.1%	17,654	4.2%	▲ 139,859	▲5.3%	13.0	13.8	▲ 0.8	▲5.8%	札幌	▲1.1℃	0.8℃
東北	2,165,726	423,732	2,589,458	2,158,523	401,415	2,559,938	7,203	0.3%	22,317	5.6%	29,520	1.2%	12.0	11.9	0.1	0.8%	仙台	3.0℃	▲1.5℃
関東	9,572,588	1,012,370	10,584,958	9,538,255	921,567	10,459,822	34,333	0.4%	90,803	9.9%	125,136	1.2%	15.2	15.0	0.2	1.3%	東京	6.6℃	▲1.0℃
中部	3,461,173	155,655	3,616,828	3,435,354	155,161	3,590,515	25,819	0.8%	494	0.3%	26,313	0.7%	16.1	15.9	0.2	1.3%	名古屋	5.1℃	▲2.0℃
北陸	617,838	71,771	689,609	606,346	68,760	675,106	11,492	1.9%	3,011	4.4%	14,503	2.1%	11.0	10.7	0.3	2.8%	富山	3.1℃	▲1.8℃
近畿	3,268,310	129,385	3,397,695	3,210,469	135,712	3,346,181	57,841	1.8%	▲ 6,327	▲4.7%	51,514	1.5%	14.0	13.8	0.2	1.4%	大阪	6.1℃	▲1.7℃
中国	2,094,015	98,576	2,192,591	2,066,902	93,490	2,160,392	27,113	1.3%	5,086	5.4%	32,199	1.5%	14.3	14.0	0.3	2.1%	広島	4.9℃	▲2.6℃
四国	1,007,968	13,572	1,021,540	994,016	12,585	1,006,601	13,952	1.4%	987	7.8%	14,939	1.5%	12.0	11.8	0.2	1.7%	高松	5.5℃	▲1.8℃
九州	4,729,801	180,028	4,909,829	4,654,154	169,855	4,824,009	75,647	1.6%	10,173	6.0%	85,820	1.8%	12.6	12.4	0.2	1.6%	福岡	6.3℃	▲2.9℃
沖縄	512,533	2,157	514,690	482,612	2,525	485,137	29,921	6.2%	▲ 368	▲14.6%	29,553	6.1%	8.1	7.7	0.4	5.2%	那覇	16.4℃	▲2.5℃
全国	29,503,810	2,527,879	32,031,689	29,378,002	2,384,049	31,762,051	125,808	0.4%	143,830	6.0%	269,638	0.8%	13.8	13.6	0.2	1.5%	全国	5.6℃	▲1.7℃

参考 2025年(1月－2月)累計 一般ガス事業のガス販売量実績

出典:経産省iP

		当年1月－2月	前年同期	増減	前年比(%)
お客さま件数（千戸）	家庭用	54,274,713	53,823,192	451,521	0.8%
	商業用他	2,395,000	2,400,303	▲ 5,303	▲ 0.2%
	計	56,669,713	56,223,495	446,218	0.8%

		当年1月－2月	前年同期	増減	前年比(%)
ガス販売量（千㎥）	家庭用	108,756,823	103,768,621	4,988,202	4.8%
	商業用他	232,359,180	224,412,544	7,946,636	3.5%
	計	341,116,003	328,181,165	12,934,838	3.9%

（41.8605MJ=1万kcal換算）

（41.8605MJ=1万kcal換算）

簡易ガス事業生産動態統計の概況（令和６年）

令和６年における簡易ガス事業の年間生産量（販売量）は、１２１，５３３，３９８㎥（対前年比９７．３％）で、そのうち圧縮天然ガスは、６３５，３９５㎥（対前年比１００．９％）となった。調定数メーター当たりの全国平均販売量（㎥／月）は、９．４１㎥で、前年より０．２㎥の減少（対前年比９７．９％）となった。経済産業局別の平均販売量（㎥／月）は、関東局（１０．６１㎥）、中部局（１０．３７㎥）、東北局（９．９０㎥）の順となっている。

各項目の概要は次のとおりである。

（１）供給地点群数等

令和６年１２月末における供給地点群数は、７，１９２（うち圧縮天然ガスは２１）、供給地点数は１，７９９，３３１（うち圧縮天然ガスは４，０３０）となっている。前年１２月末に比べると、供給地点群数は２地点群の減少（対前年同月比９９．９７％）、供給地点数は８５８地点の減少（対前年同月比９９．９５％）となった。そのうち圧縮天然ガスの供給地点群数は前年同月と同数、供給地点数は前年同月と同数となった。供給地点数を経済産業局別に見ると、関東局：５１８，３１３（構成比２８．８％）、九州局：３０３，５３７（構成比１６．９％）、近畿局：２０６，１０３（構成比１１．５％）の順となっており、この３局で全国の約５７．４％を占めている。

（２）需要家メーター取付数等

令和６年１２月末における需要家メーター取付数は、１，３１４，９９１個で、前年１２月末に比べると９１８個の増加（対前年同月比１００．１％）となった。用途別の内訳は、家庭用１，３０３，２９７個（構成比９９．１％）、商業用９，１３２個（構成比０．７％）、その他２，５６２個（構成比０．２％）となっている。調定数は１，０７３，５３２個で、前年１２月末に比べると５，９５３個の減少（対前年同月比９９．４％）となった。

（３）生産量（販売量）

生産量（販売量）は１２１，５３３，３９８㎥で、用途別の内訳は、家庭用１１１，６３４，５７２㎥（対前年比９６．９％、構成比９１．９％）、商業用６，３２６，８１７㎥（対前年比１０２．１％、構成比５．２％）、その他３，５７２，００９㎥（対前年比１００．３％、構成比２．９％）となっている。経済産業局別に前年比でみると北海道局（１０３．６％）、東北局（９８．２％）、北陸局（９８．２％）、関東局（９８．１％）が全国平均（９７．３％）を上回っている。

平均販売量

時間軸コード	年	経済産業局名	生産量（販売量） 対前年比	生産量（販売量） 対前年比	平均販売量	平均販売量
			家庭用	総販売量	令和６年	対前年比
			%	%	㎥／月	%
2024000000	2024	北海道局	104.8	103.6	9.15	104.7
2024000000	2024	東北局	97.3	98.2	9.90	99.2
2024000000	2024	関東局	97.3	98.1	10.61	99.0
2024000000	2024	中部局	96.7	96.7	10.37	97.0
2024000000	2024	北陸支局	97.6	98.2	8.10	98.0
2024000000	2024	近畿局	96.3	96.0	9.20	96.0
2024000000	2024	中国局	95.8	96.0	9.10	97.0
2024000000	2024	四国局	94.7	94.8	7.81	95.7
2024000000	2024	九州局	94.5	94.7	8.16	95.3
2024000000	2024	沖縄局	95.9	95.2	5.46	93.3
2024000000	2024	全　国	96.9	97.3	9.41	97.9

ガス事業生産動態統計集計表(令和６年) 総括表

項目1	項目2	項目3	項目4	単位	北海道局	東北局	関東局	中部局	北陸支局	近畿局	中国局	四国局	九州局	沖縄局	い号合計	ろ号合計	合　計
供給地点群数			(6年12月末)	個	344	592	2,017	656	270	968	588	357	1,183	217			7,192
	(うち圧縮天然ガス)		(6年12月末)	個	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0			21
供給地点数			(6年12月末)	個	141,277	151,935	518,313	176,479	58,126	206,103	134,597	72,836	303,537	36,128			1,799,331
	(うち圧縮天然ガス)		(6年12月末)	個	0	0	4,030	0	0	0	0	0	0	0			4,030
原料	月始在庫量		(6年12月末)	kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	7,115,973	9,386	7,125,359
	(うち圧縮天然ガス)		(6年12月末)	m^3	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
	受入量			kg	20,744,000	22,901,365	81,971,641	28,212,819	5,760,713	27,116,125	16,591,486	8,446,209	40,072,139	4,032,728	255,510,407	338,818	255,849,225
	(うち圧縮天然ガス)			m^3	0	0	569,286	0	0	0	0	0	0	0			569,286
	消費量			kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	111,405,201	335,781	111,740,982
	(うち圧縮天然ガス)			m^3	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
	過欠補正			kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	241,834	77,168	319,002
	(うち圧縮天然ガス)			m^3	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
	月末在庫量		(6年12月末)	kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	7,796,844	8,913	7,805,757
	(うち圧縮天然ガス)		(6年12月末)	m^3	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
需要家メーター数	家庭用取付数	取付数	(6年12月末)	個	95,679	111,939	369,223	126,714	36,762	152,649	91,348	56,845	226,735	35,403			1,303,297
		(うち圧縮天然ガス)	(6年12月末)	個	0	0	3,469	0	0	0	0	0	0	0			3,469
		調定数	(6年12月末)	個	78,702	89,192	311,952	107,097	28,169	116,541	72,625	41,970	186,909	31,509			1,064,666
		(うち圧縮天然ガス)	(6年12月末)	個	0	0	2,967	0	0	0	0	0	0	0			2,967
	商業用	取付数	(6年12月末)	個	1,514	1,271	3,558	719	280	710	264	136	660	20			9,132
		(うち圧縮天然ガス)	(6年12月末)	個	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0			17
		調定数	(6年12月末)	個	872	928	2,747	601	171	559	213	73	590	14			6,768
		(うち圧縮天然ガス)	(6年12月末)	個	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0			17
	その他	取付数	(6年12月末)	個	483	314	403	194	90	239	258	23	543	15			2,562
		(うち圧縮天然ガス)	(6年12月末)	個	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
		調定数	(6年12月末)	個	392	266	348	148	70	185	213	17	449	10			2,098
		(うち圧縮天然ガス)	(6年12月末)	個	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	計	取付数	(6年12月末)	個	97,676	113,524	373,184	127,627	37,132	153,598	91,870	57,004	227,938	35,438			1,314,991
		(うち圧縮天然ガス)	(6年12月末)	個	0	0	3,486	0	0	0	0	0	0	0			3,486
		調定数	(6年12月末)	個	79,966	90,386	315,047	107,846	28,410	117,285	73,051	42,060	187,948	31,533			1,073,532
		(うち圧縮天然ガス)	(6年12月末)	個	0	0	2,984	0	0	0	0	0	0	0			2,984
生産量	家庭用			m^3	7,384,645	9,092,758	36,535,260	12,747,245	2,420,414	12,387,221	7,651,314	3,872,477	17,504,993	2,038,245			111,634,572
(販売量)	(うち圧縮天然ガス)			m^3	0	0	620,655	0	0	0	0	0	0	0			620,655
	商業用			m^3	602,454	1,132,317	2,981,506	560,319	156,646	358,741	135,576	28,453	356,962	13,843			6,326,817
	(うち圧縮天然ガス)			m^3	0	0	14,740	0	0	0	0	0	0	0			14,740
	その他			m^3	834,493	571,799	739,818	135,145	181,518	267,069	236,078	39,348	563,712	3,029			3,572,009
	(うち圧縮天然ガス)			m^3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	計			m^3	8,821,592	10,796,874	40,256,584	13,442,709	2,758,578	13,013,031	8,022,968	3,940,278	18,425,667	2,055,117			121,533,398
	(うち圧縮天然)			m^3	0	0	635,395	0	0	0	0	0	0	0			635,395

ガス事業生産動態統計の概況
（ガス小売事業（特定ガス発生設備においてガスを発生させ、導管によりこれを供給するものに限る。））

（令和7年1月分）

資源エネルギー庁
電力・ガス事業部
ガス市場整備室

令和7年1月分のガス小売事業（特定ガス発生設備においてガスを発生させ、導管によりこれを供給するものに限る。）の総生産量（販売量）は、16,050,752㎥となり、対前年同月比100.7%、調定数は、対前年同月比99.5%、平均販売量は、対前年同月比101.3%だった。

（１）供給地点群数等

供給地点群数及び供給地点数は、それぞれ7,190（対前月より2地点群減少、対前年同月比99.9%）、1,798,737（対前月より594地点減少、対前年同月比99.9%）となった。

（２）需要家メーター取付数等

需要家メーター取付数は、1,314,810個（対前年同月比100.1%）で対前月181個の減少（対前月比100.0%）、調定数は、1,072,870件（対前年同月比99.5%）で対前月662件の減少（対前月比99.9%）、そのうち家庭用需要家メーター取付数は、1,303,100個、調定数は、1,063,990件である。

（３）総生産量（販売量）

総生産量（販売量）は、16,050,752㎥で、そのうち家庭用は、14,800,147㎥（構成比92.2%）となっている。

平均販売量

時間軸コード	年月	経済産業局名	生産量（販売量） 対前年同月比	生産量（販売量） 対前年同月比	平均販売量	平均販売量	平均販売量
			家庭用	総販売量	2024年1月	2025年1月	対前年同月比
			%	%	㎥／月	㎥／月	%
2025000101	202501	北海道局	88.96	91.76	17.87	16.6	92.91
2025000101	202501	東北局	100.64	101.4	13.95	14.27	102.32
2025000101	202501	関東局	101.57	102.57	16.2	16.74	103.37
2025000101	202501	中部局	102.04	101.85	16.85	17.24	102.34
2025000101	202501	北陸支局	104.86	104.73	11.46	11.91	103.98
2025000101	202501	近畿局	100.28	99.81	14.35	14.26	99.41
2025000101	202501	中国局	101.29	101.35	14.72	15.11	102.63
2025000101	202501	四国局	99.74	99.84	11.89	11.93	100.33
2025000101	202501	九州局	100.69	100.79	12.87	13.02	101.17
2025000101	202501	沖縄局	103.24	103.24	7.66	7.8	101.84
2025000101	202501	全　国	100.24	100.74	14.77	14.96	101.26

ガス事業生産動態統計集計表(令和7年1月分) 総括表

項目1	項目2	項目3	単位	北海道局	東北局	関東局	中部局	北陸支局	近畿局	中国局	四国局	九州局	沖縄局	い号合計	ろ号合計	合　計
供給地点群数			個	344	592	2,015	656	270	968	588	357	1,183	217			7,190
	(うち圧縮天然ガス)		個	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0			21
供給地点数			個	141,278	151,860	518,150	176,480	58,126	205,844	134,598	72,836	303,437	36,128			1,798,737
	(うち圧縮天然ガス)		個	0	0	4,030	0	0	0	0	0	0	0			4,030
原料	月始在庫量		kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	7,577,656	8,913	7,586,569
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
	受入量		kg	3,002,264	2,719,598	10,676,309	3,720,370	710,835	3,479,834	2,246,526	1,081,350	5,241,771	492,397	33,346,304	24,950	33,371,254
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	0	0	74,306	0	0	0	0	0	0	0			74,306
	消費量		kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	14,976,474	26,704	15,003,178
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
	過欠補正		kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	−75,584	2,702	−72,882
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
	月末在庫量		kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	7,686,687	9,861	7,696,548
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
需要家メーター数	家庭用取付数	取付数	個	95,666	111,956	368,979	126,585	36,757	152,674	91,304	56,842	226,934	35,403			1,303,100
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	3,469	0	0	0	0	0	0	0			3,469
		調定数	個	78,536	89,040	311,777	107,026	28,150	116,428	72,623	41,959	186,879	31,572			1,063,990
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	2,977	0	0	0	0	0	0	0			2,977
	商業用	取付数	個	1,514	1,271	3,557	718	277	738	264	133	658	20			9,150
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0			17
		調定数	個	877	928	2,765	601	171	558	213	72	588	14			6,787
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0			17
	その他	取付数	個	483	313	403	194	88	239	258	23	544	15			2,560
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
		調定数	個	390	264	346	149	70	185	213	17	449	10			2,093
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	計	取付数	個	97,663	113,540	372,939	127,497	37,122	153,651	91,826	56,998	228,136	35,438			1,314,810
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	3,486	0	0	0	0	0	0	0			3,486
		調定数	個	79,803	90,232	314,888	107,776	28,391	117,171	73,049	42,048	187,916	31,596			1,072,870
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	2,994	0	0	0	0	0	0	0			2,994
生産量	家庭用		m^3	1,096,777	1,079,471	4,770,314	1,783,173	306,440	1,607,706	1,054,940	494,998	2,361,252	245,076			14,800,147
(販売量)	(うち圧縮天然ガス)		m^3	0	0	91,667	0	0	0	0	0	0	0			91,667
	商業用		m^3	97,363	150,723	426,519	61,540	14,377	37,170	15,528	2,739	34,466	1,238			841,663
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	0	0	2,221	0	0	0	0	0	0	0			2,221
	その他		m^3	130,894	57,768	75,357	13,854	17,368	26,047	33,238	3,927	50,471	18			408,942
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	計		m^3	1,325,034	1,287,962	5,272,190	1,858,567	338,185	1,670,923	1,103,706	501,664	2,446,189	246,332			16,050,752
	(うち圧縮天然)		m^3	0	0	93,888	0	0	0	0	0	0	0			93,888

ガス事業生産動態統計の概況
（ガス小売事業（特定ガス発生設備においてガスを発生させ、導管によりこれを供給するものに限る。））

（令和7年2月分）

資源エネルギー庁
電力・ガス事業部
ガス市場整備室

令和7年2月分のガス小売事業（特定ガス発生設備においてガスを発生させ、導管によりこれを供給するものに限る。）の総生産量（販売量）は、15,980,937㎥となり、対前年同月比101.0%、調定数は、対前年同月比99.4%、平均販売量は、対前年同月比101.6%だった。

（１）供給地点群数等

供給地点群数及び供給地点数は、それぞれ7,193（対前月より3地点群増加、対前年同月比99.9%）、1,798,323（対前月より414地点減少、対前年同月比99.9%）となった。

（２）需要家メーター取付数等

需要家メーター取付数は、1,314,071個（対前年同月比100.1%）で対前月739個の減少（対前月比99.9%）、調定数は、1,071,013件（対前年同月比99.4%）で対前月1,857件の減少（対前月比99.8%）、そのうち家庭用需要家メーター取付数は、1,302,320個、調定数は、1,062,132件である。

（３）総生産量（販売量）

総生産量（販売量）は、15,980,937㎥で、そのうち家庭用は、14,703,663㎥（構成比92.0%）となっている。

平均販売量

時間軸コード	年月	経済産業局名	生産量（販売量） 対前年同月比	生産量（販売量） 対前年同月比	平均販売量	平均販売量	平均販売量
			家庭用	総販売量	2024年2月	2025年2月	対前年同月比
			%	%	㎥／月	㎥／月	%
2025000202	202502	北海道局	97.85	98.28	14.99	14.92	99.54
2025000202	202502	東北局	100.04	100.91	14.16	14.45	102.06
2025000202	202502	関東局	99.18	99.87	16.77	16.89	100.7
2025000202	202502	中部局	99.41	99.57	16.34	16.33	99.97
2025000202	202502	北陸支局	99.14	99.78	12.41	12.54	101.05
2025000202	202502	近畿局	103.32	103.27	14.33	14.77	103.1
2025000202	202502	中国局	101.33	101.63	14.5	14.93	102.96
2025000202	202502	四国局	103.06	103.12	11.97	12.4	103.61
2025000202	202502	九州局	102.58	102.78	12.74	13.13	103.13
2025000202	202502	沖縄局	109.06	108.85	7.88	8.47	107.54
2025000202	202502	全　国	100.62	100.96	14.69	14.92	101.59

十集計表（令和7年2月分） 総括表

項目1	項目2	項目3	単位	北海道局	東北局	関東局	中部局	北陸支局	近畿局	中国局	四国局	九州局	沖縄局	い号合計	ろ号合計	合　計
供給地点群数			個	345	592	2,014	656	270	967	587	357	1,187	218			7,193
	(うち圧縮天然ガス)		個	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0			21
供給地点数			個	141,367	151,422	518,068	176,480	57,982	205,652	134,506	72,836	303,762	36,248			1,798,323
	(うち圧縮天然ガス)		個	0	0	4,030	0	0	0	0	0	0	0			4,030
原料	月始在庫量		kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	7,371,833	9,861	7,381,694
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
	受入量		kg	2,694,429	2,593,051	10,596,327	3,629,447	657,297	3,425,491	2,191,034	1,032,844	5,092,909	516,945	32,403,778	25,996	32,429,774
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	0	0	69,261	0	0	0	0	0	0	0			69,261
	消費量		kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	14,748,727	26,773	14,775,500
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
	過欠補正		kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	−10,782	392	−10,390
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
	月末在庫量		kg	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	7,585,689	9,476	7,595,165
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x			0
需要家メーター数	家庭用取付数	取付数	個	95,761	111,953	368,374	126,551	36,565	152,525	91,233	56,842	226,992	35,524			1,302,320
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	3,469	0	0	0	0	0	0	0			3,469
		調定数	個	78,442	88,857	311,454	106,896	27,802	116,168	72,510	41,820	186,528	31,655			1,062,132
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	3,008	0	0	0	0	0	0	0			3,008
	商業用	取付数	個	1,513	1,273	3,557	720	282	745	265	133	661	20			9,169
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0			17
		調定数	個	873	926	2,775	600	164	566	213	72	590	14			6,793
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0			17
	その他	取付数	個	483	313	403	222	83	239	258	23	543	15			2,582
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
		調定数	個	389	265	346	149	64	184	213	17	451	10			2,088
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	計	取付数	個	97,757	113,539	372,334	127,493	36,930	153,509	91,756	56,998	228,196	35,559			1,314,071
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	3,486	0	0	0	0	0	0	0			3,486
		調定数	個	79,704	90,048	314,575	107,645	28,030	116,918	72,936	41,909	187,569	31,679			1,071,013
		(うち圧縮天然ガス)	個	0	0	3,025	0	0	0	0	0	0	0			3,025
生産量 (販売量)	家庭用		m^3	977,081	1,086,255	4,802,274	1,678,000	311,398	1,660,604	1,039,075	512,970	2,368,549	267,457			14,703,663
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	0	0	72,803	0	0	0	0	0	0	0			72,803
	商業用		m^3	86,819	154,487	427,911	63,469	16,749	36,980	15,102	2,993	35,421	882			840,813
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	0	0	2,104	0	0	0	0	0	0	0			2,104
	その他		m^3	125,557	60,754	82,583	16,792	23,277	29,188	34,708	3,913	59,670	19			436,461
	(うち圧縮天然ガス)		m^3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	計		m^3	1,189,457	1,301,496	5,312,768	1,758,261	351,424	1,726,772	1,088,885	519,876	2,463,640	268,358			15,980,937
	(うち圧縮天然)		m^3	0	0	74,907	0	0	0	0	0	0	0			74,907

令和７年３月12日

ご旅行日程表（受注型企画旅行）

佐渡汽船(株)営業部旅行課
新潟市中央区万代島９番１号
TEL (025)245-3701
FAX (025)245-3712
担　当　長谷部　樹

日本コミュニティーガス協会　様

	令和　７年　１０月　１０日（金）	日帰り
	ご参加予定人数　　８名様（大人　８名　小人　　名）	

◇小型１台ガイド付き

高速利用　　※10:10～見学開始
ホテル＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝諏訪田製作所＝＝＝＝＝＝＝＝＝
9:00 出発　　10:00(見学・買い物)11:10

◇酒蔵見学
＝＝＝＝＝長岡市内＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝朝日　酒造＝＝＝＝＝＝
11:50(昼食)12:40　　13:00(見学・買い物)13:50

高速利用　　◇新潟の名産品を取り揃え
＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝新潟ふるさと村＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝
14:45(休憩・買い物)15:30

※降車のみ
＝＝＝＝＝新潟空港＝＝＝＝＝＝＝＝＝新潟駅
16:00　16:10　　16:40 頃

この行程表は 2025 年 3 月の資料に基づき作成しています。

約 27,000円/人 - 8名

令和７年４月24日

ご旅行日程表（受注型企画旅行）

佐渡汽船(株)営業部旅行課
新潟市中央区万代島９番１号
TEL (025)245-3701
FAX (025)245-3712
担　当　長谷部　樹

日本コミュニティーガス協会　様

	令和　7年　10月　10日（金）	日帰り
	ご参加予定人数　　8名様（大人　8名　小人　　名）	

タクシー　　ジェットフォイル　　観光バス

ホテル――――――新潟港～～～～～～～～～～～両津港＝＝＝＝＝＝

7:15　　7:25　7:55　　9:02　9:15

☆世界文化遺産登録

（見学・散策）　　（見学）

＝＝＝＝＝＝＝北沢浮遊選鉱場＝＝＝＝＝＝＝佐渡金山＝＝＝＝＝＝＝＝

10:00～10:15　　10:25～11:10

（昼食）　　（試飲・買い物）

＝＝＝＝＝＝＝佐渡歴史伝説館＝＝＝＝＝＝尾畑酒造＝＝＝＝＝＝＝＝＝

11:40～12:30　　12:35～13:15

ジェットフォイル　　タクシー

＝＝＝＝＝両津港～～～～～～～～～～新潟港――――――新潟駅

13:45　14:35　　15:42　15:55　　16:15頃

☆両津港での買い物も可能です。

この行程表は2025年４月の資料に基づき作成しています。

約40,000円/人・8名